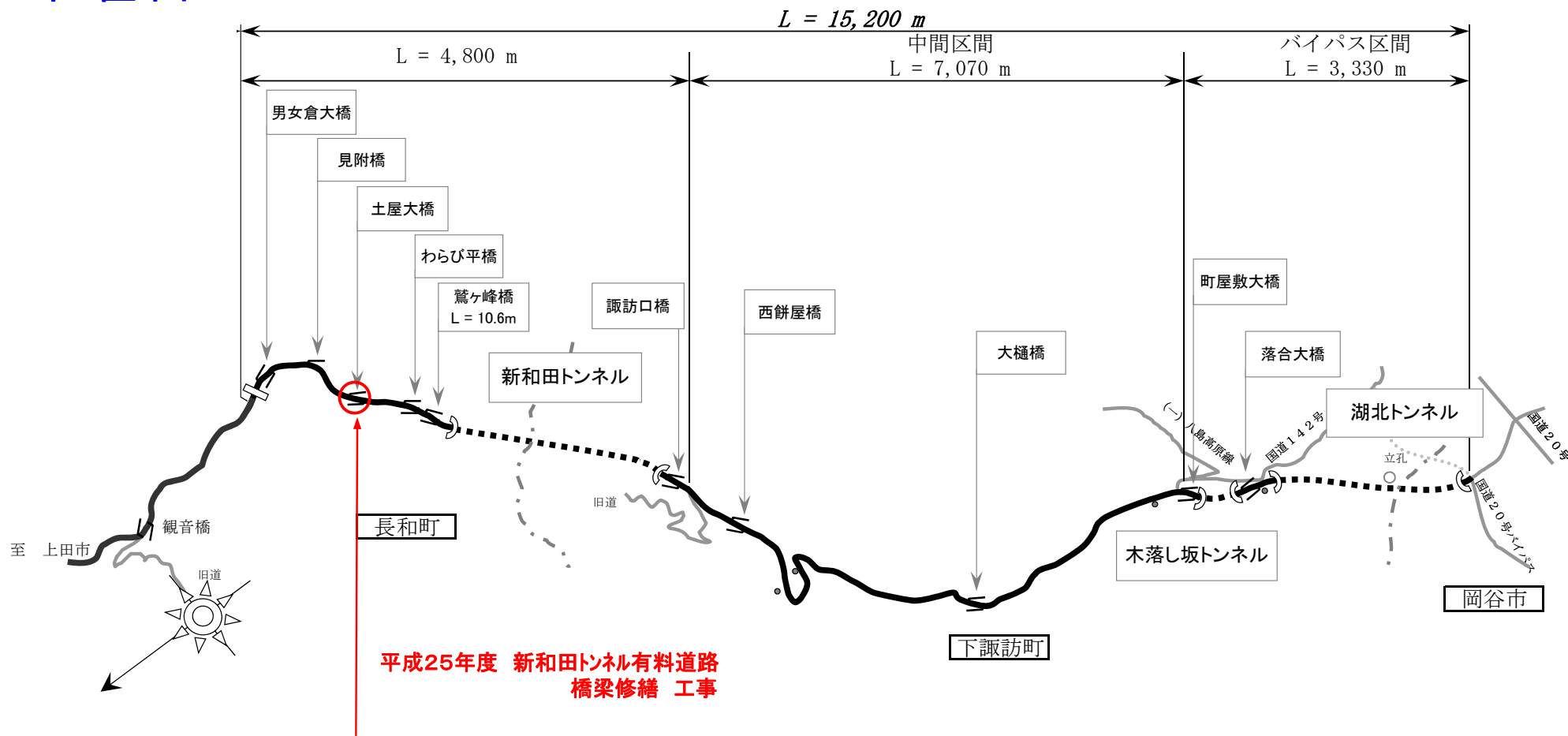


位置図

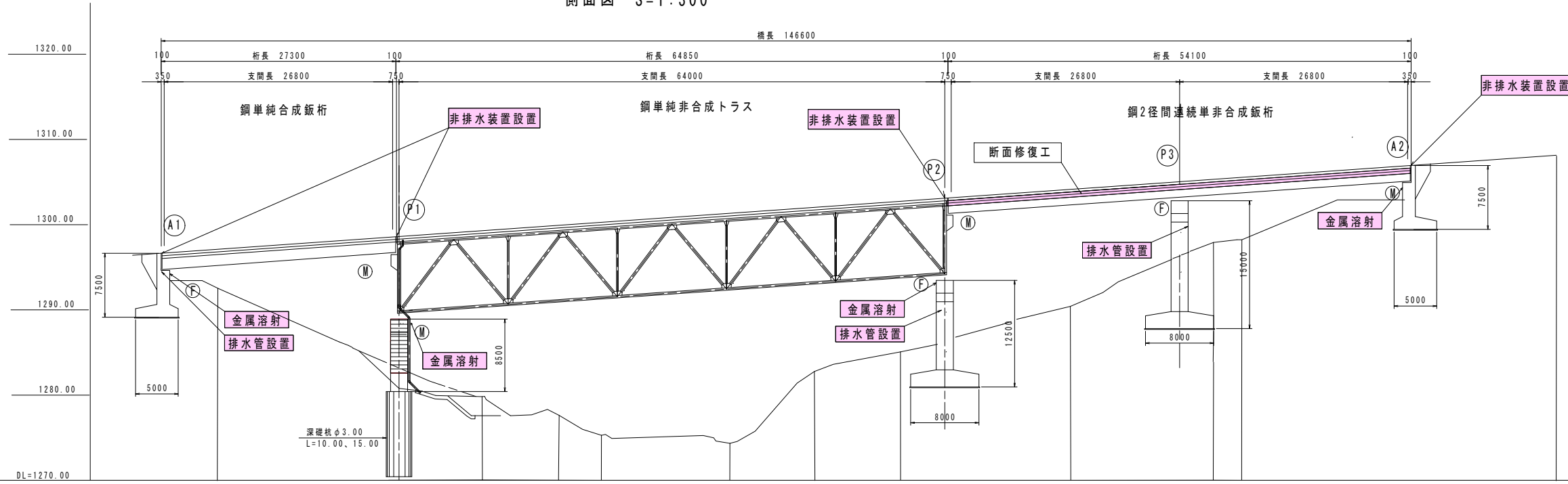
新和田トンネル有料道路 (路線全体概略図)



桥梁一般図

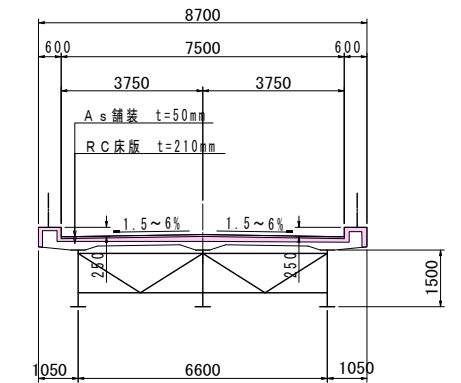
側面図 S=1:300

橋長 146600



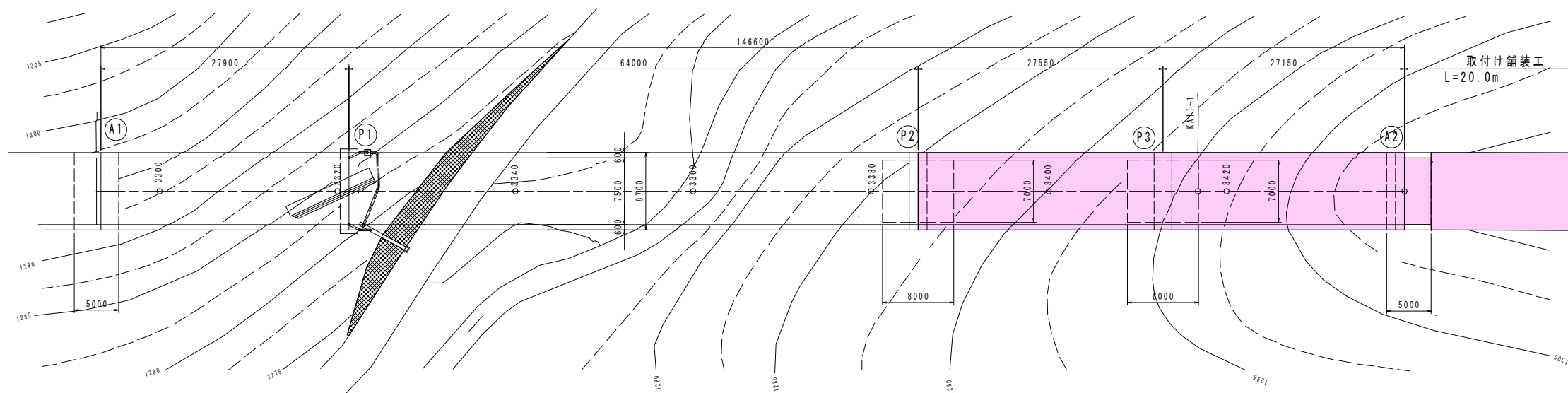
標準断面図 S=1:100

A1~P1, P2~A2



縦断勾配	i = 7.000%															
計画高	1286.588	1287.050	1288.450	1288.541	1289.220	1289.850	1299.200	1300.250	1301.950	1302.650	1303.021	1304.050	1304.950	1305.217	1305.457	1306.850
地盛高																
単距離	6.600	20.000	1.300	9.700	9.000	5.000	15.000	10.000	10.000	5.300	14.700	12.850	3.819	3.331	20.000	
測点	A1		P1						P2			P3			A2	
平面曲線	R=∞ L=132.5															
横断勾配	+1.5%															

平面図 S=1:300



設計条件

規格	一等橋
構造形式	鋼単純合成板桁+鋼単純非合成トラス +鋼2径間連続単非合成板桁
橋長	L=146.60m
支間長	26.8m+64.0m+2×26.8m
幅員構成	0.6m+7.5m+0.6m=8.7m
縦断勾配	7.0% (起点側下がり)
横断勾配	1.5% (両勾配) ~ 6.0% (片勾配)
平面線形	R=∞ ~ クロソイド (A=95m)
設計荷重	主桁 SS41, SM50YB, SM53Bその他 (橋層板より) コンクリート σck=21N/mm2 鉄筋 SD295A
構造形式	逆T式橋台×2基、ラーメン橋脚×1基、壁式橋脚×2基
基礎形式	A1, P2, P3, A2 直接基礎 P1: 深礎杭基礎
設計荷重	コンクリート σck=21N/mm2 鉄筋 SD295A
竣工年度	昭和52年9月
適用示方書	道路橋示方書 (昭和47年)

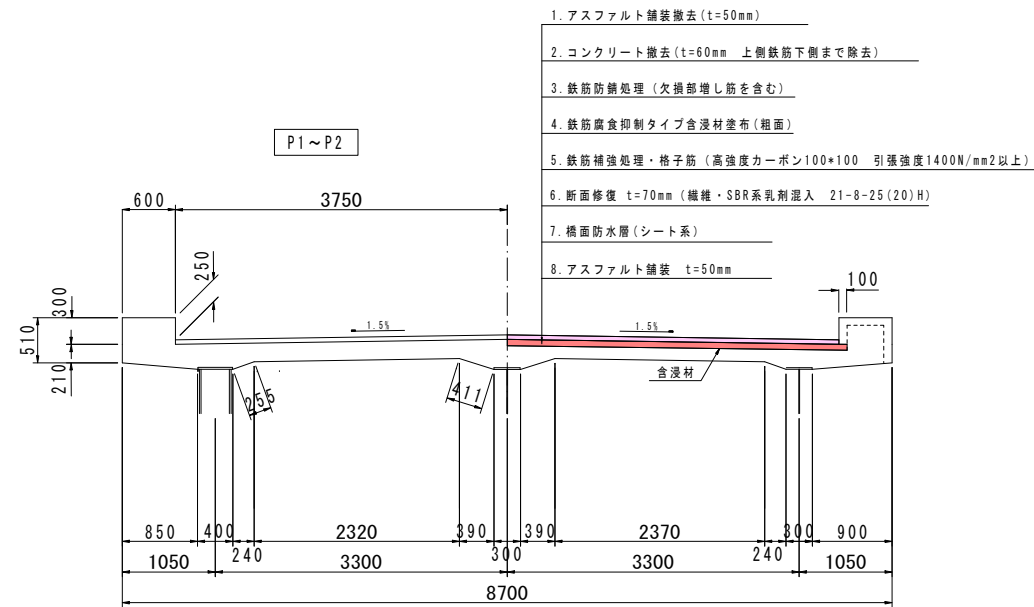
実施図

平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事	
番号	1/13 橋梁一般図 縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)	
小栗郡 長和町和田 土屋大橋	
所長	内田 課長 照査 田口 設計 佐藤
長野県道路公社	
設計会社	長野県 管理技術者 道研公社 照査技術者
測量会社	主任技術者
調査会社	主任技術者

土屋大橋 床版（上面）断面修復図

補修 CASE-1

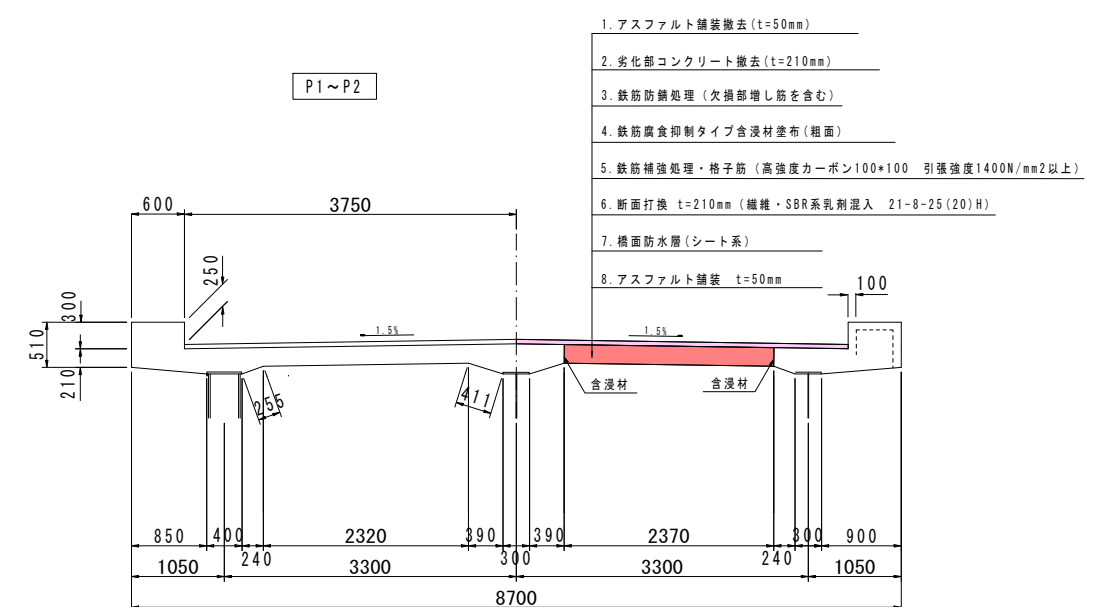
床版上面劣化部 S=1:40



1. アスファルト舗装撤去 (t=50mm)
2. コンクリート撤去 (t=60mm 上側鉄筋下側まで除去)
3. 鉄筋防錆処理 (欠損部増し筋を含む)
4. 鉄筋腐食抑制タイプ含浸材塗布 (粗面)
5. 鉄筋補強処理・格子筋 (高強度カーボン100*100 引張強度1400N/mm²以上)
6. 断面修復 t=70mm (繊維・SBR系乳剤混入 21-8-25 (20)H)
7. 橋面防水層 (シート系)
8. アスファルト舗装 t=50mm

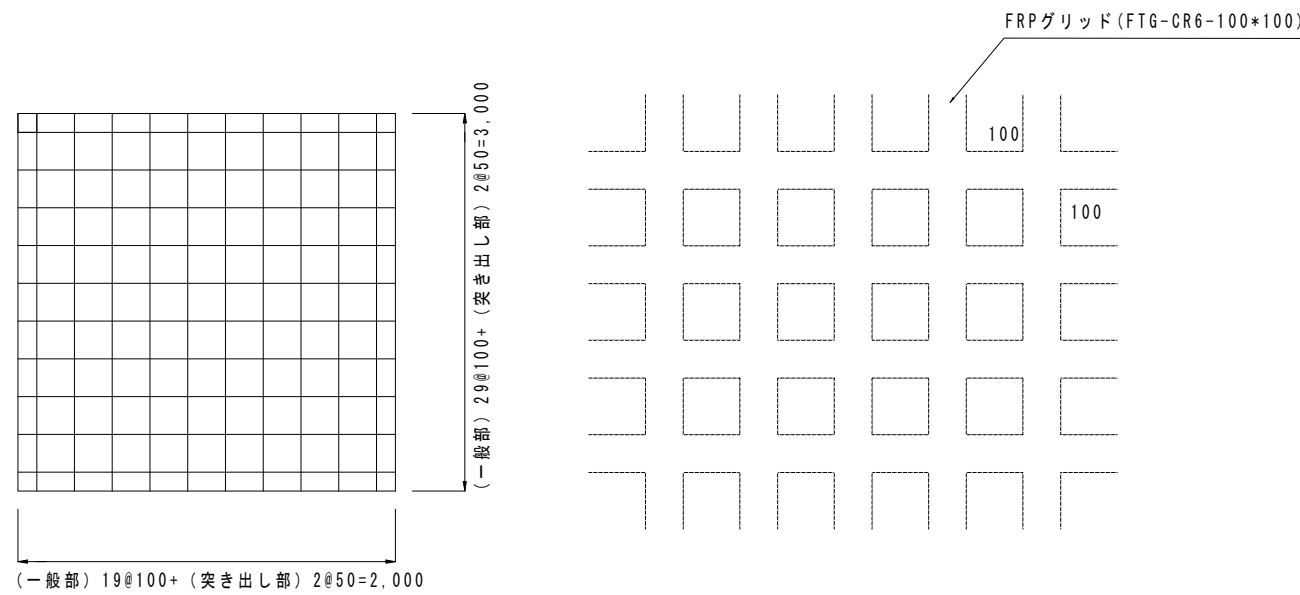
補修 CASE-2

床版全厚劣化部 S=1:40



1. アスファルト舗装撤去 (t=50mm)
2. 劣化部コンクリート撤去 (t=210mm)
3. 鉄筋防錆処理 (欠損部増し筋を含む)
4. 鉄筋腐食抑制タイプ含浸材塗布 (粗面)
5. 鉄筋補強処理・格子筋 (高強度カーボン100*100 引張強度1400N/mm²以上)
6. 断面打換 t=210mm (繊維・SBR系乳剤混入 21-8-25 (20)H)
7. 橋面防水層 (シート系)
8. アスファルト舗装 t=50mm

格子筋（高強度カーボン）補強工法 施工詳細図



- 注) 1. プラスチックひび割れは超速硬型無収縮モルタルとSBR系乳液で処理する。
 2. 床版下面は断面修復・部分打換え後にひび割れ注入を実施する。
 3. 鉄筋かぶりは最少 25mm 以上とする。
 4. 床版（上面）断面修復は1ブロック10mとし、支間中央部からの施工とする。
 5. 地覆コンクリートの打設は床版（上面）断面修復完了後とする。

格子筋（高強度カーボン）性能表

材料（相当品）	筋断面積	格子間隔	引張強度	引張弾性率
FTG-CR6-100*100	17.5mm ²	100*100mm	1,400N/mm ²	1.0*10 ⁵ N/mm ²

FRPグリッド相当品の継ぎ手長は3節2拵以上とする。
 今回の場合は突き出し部を含め、300mm以上とし、橋軸方向および直角方向に設ける。

格子筋（高強度カーボン）工法 数量表

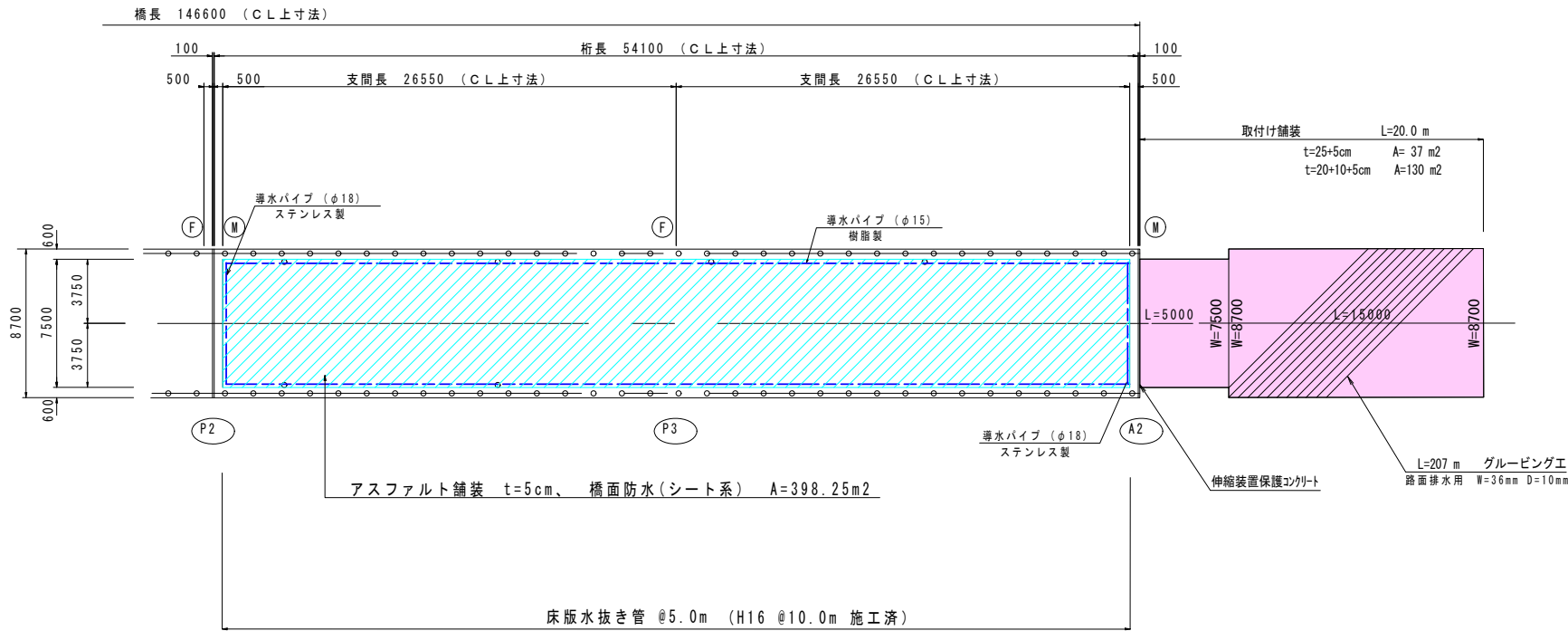
材料名	品番・仕様（相当品）	数量	標準使用量
格子筋	FTG-CR6-100*100	000 m ³	1.20 m ³ /m ²

実施図

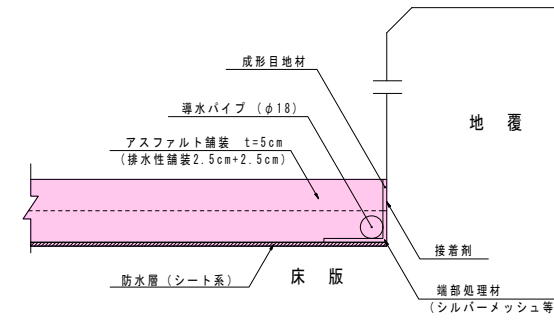
平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番号	2/13	床版断面補修図	縮尺 図示
新和トンネル有料道路 (R142号)			
小泉郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県 道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

土屋大橋 橋面補修工

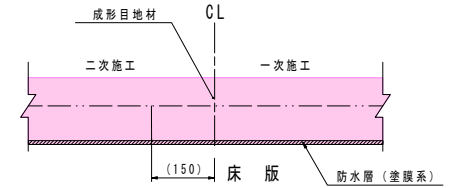
平面図 S=1:200



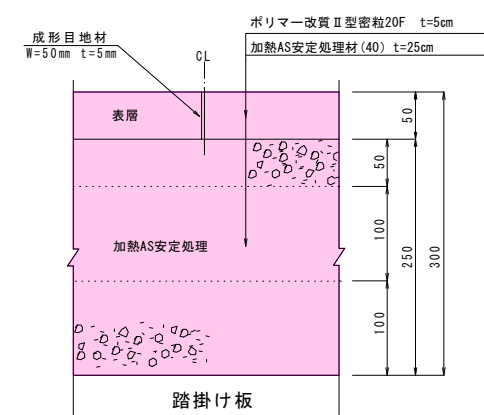
導水装置参考図 S=1:3
車道



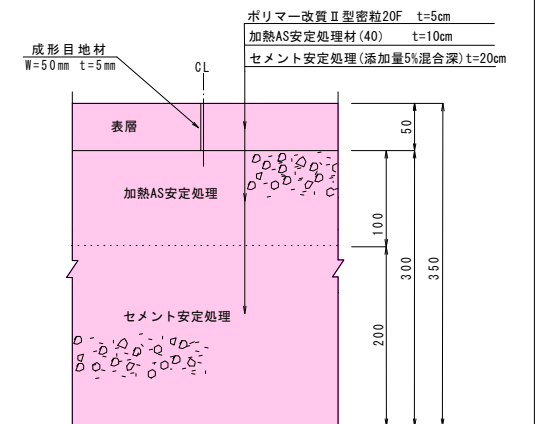
アスファルト舗装部分詳細図 S=1:3



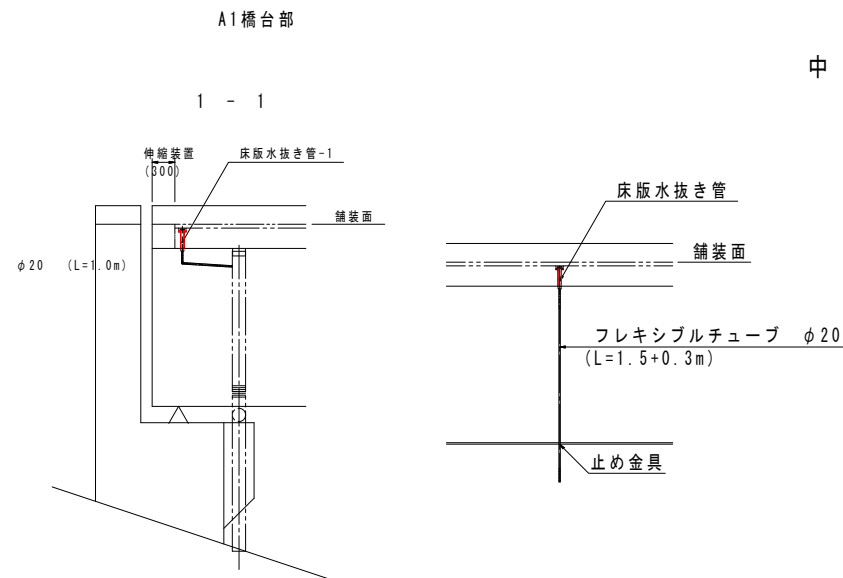
車道部 (踏掛け版上) 詳細図 S=1:4



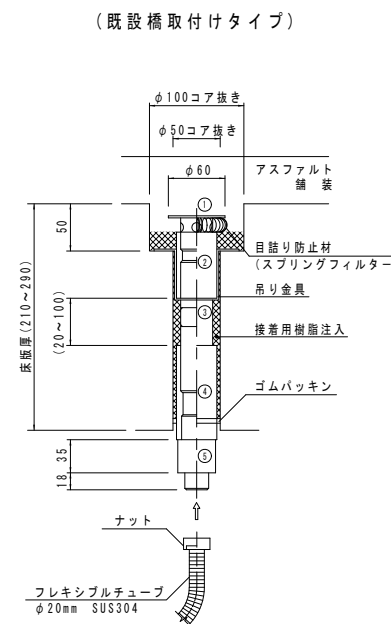
車道部 (取付け) 詳細図 S=1:4



床版水抜き取付図 S=1:50



床版水抜き管 参考構造図



(既設用 参考数量表)

部材名	寸法	備考
本体構成部品	① φ34.0×35	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ) キャップ付 (φ60×2.3t)
"	② φ42.7×70	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
"	③ φ34.0×140	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
"	④ φ42.7×100	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
"	⑤ 40.0×80	樹脂性
吊り金具		普通鉄板
ゴムパッキン		
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)
フレキシブルチューブ	φ20	ステンレス (SUS304)
接着用樹脂注入	0.4kg/箇所	エポキシ樹脂

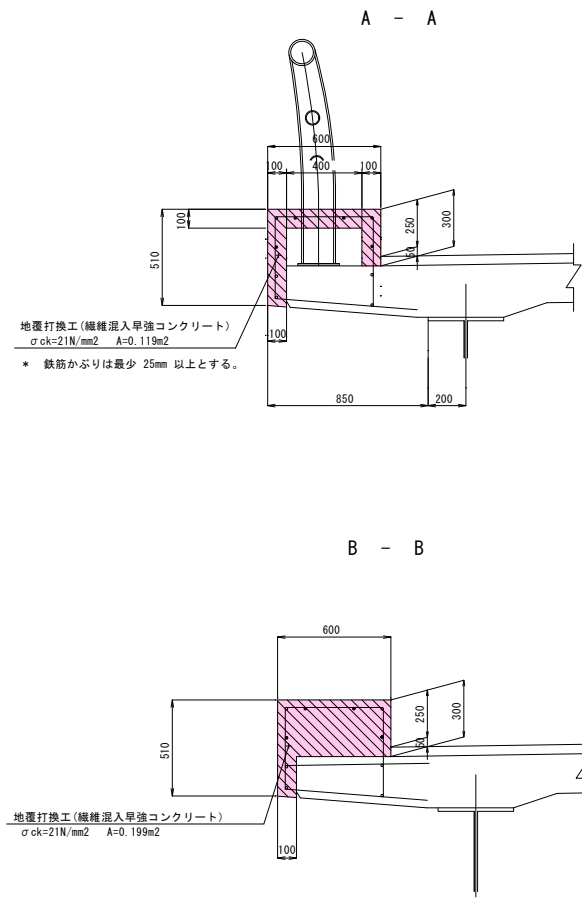
- 注記
- タイプ様-2、対応床版厚210~290mm
 - 主材は、STKM-13A-SH。表面処理は、HDZ-35を施して有ります。
 - 排水処理導水の場合は、フレキシブルチューブを取付けます。
 - コア削孔時には、床版鉄筋に注意。

実施図

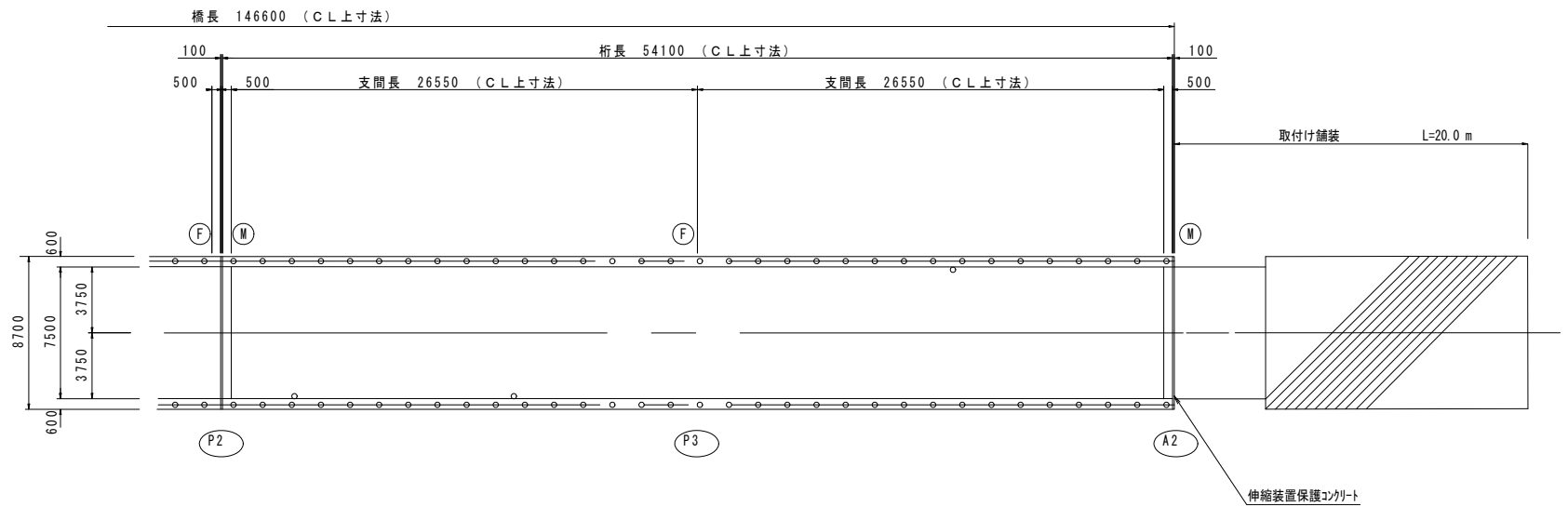
平成25年度 新和田トンネル有料道路 橋梁補修工事			
番号	3/13	橋面補修工	縮尺 図示
新和田トンネル有料道路(R142号)			
小泉郡 長和町 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査 田口 設計 佐藤	
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

土屋大橋 地覆補修工

地覆補修断面図 S=1:20

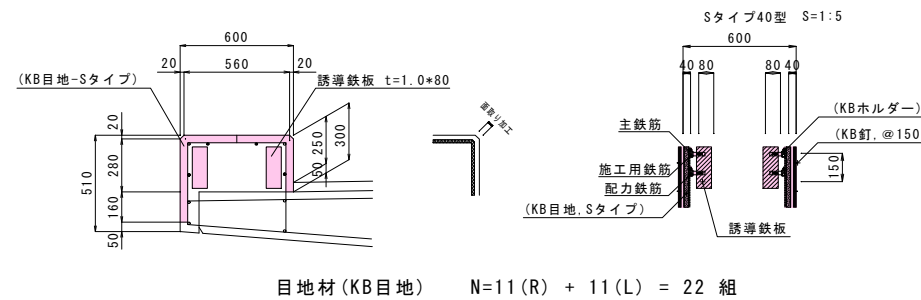


平面図 S=1:200

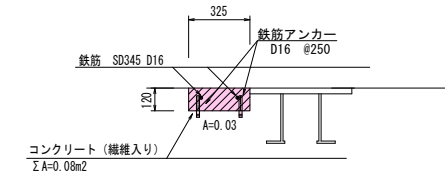


* 目地間隔はL=5.0m以下とする。

膨張・収縮目地(誘発目地) 参考図 S=1:20



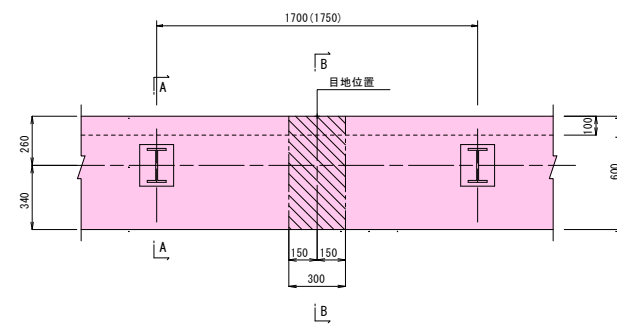
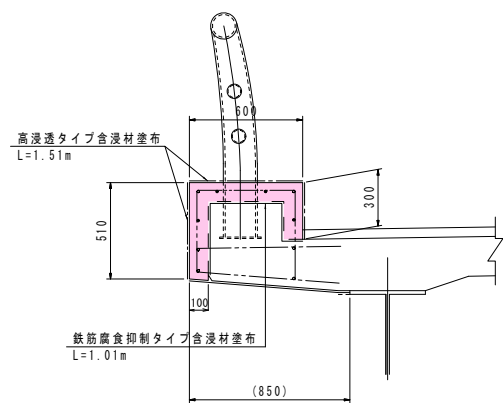
伸縮装置補修工



伸縮装置補修工 数量計算表 7.5m当たり数量

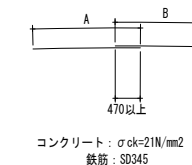
名称	細別	計算式	単位	数量	備考
取換工	無筋コンクリート				
アンカー工	差し筋7ホ- D16	7.5×2/0.25	本	60	
鉄筋工	S0345 D16	7.5×2×1.56	kg	23.4	
コンクリート工	21-8-25H 繊維入り	0.03×7.5	m3	0.22	

地覆、張出床版下面保護工法参考図 S=1:20



地覆補修工 数量計算表 1橋当たり数量

名称	細別	計算式	単位	数量	備考
とりこわし工		0.119×(51.4+51.4+0.3×22)×0.189×0.3×22	m3	12.76	
鉄筋工	S0345 D13				
鉄筋防錆処理工	メゾト系	(51.4+51.4)×0.3(推定)×30.8kg/2.0kg	m2	15.4	2.0kg/m2
地覆コンクリート工	21-8-25H繊維入り	0.119×(51.4+51.4+0.3×22)×0.189×0.3×22	m3	12.761	
目地材	KB目地 相当		組	22	



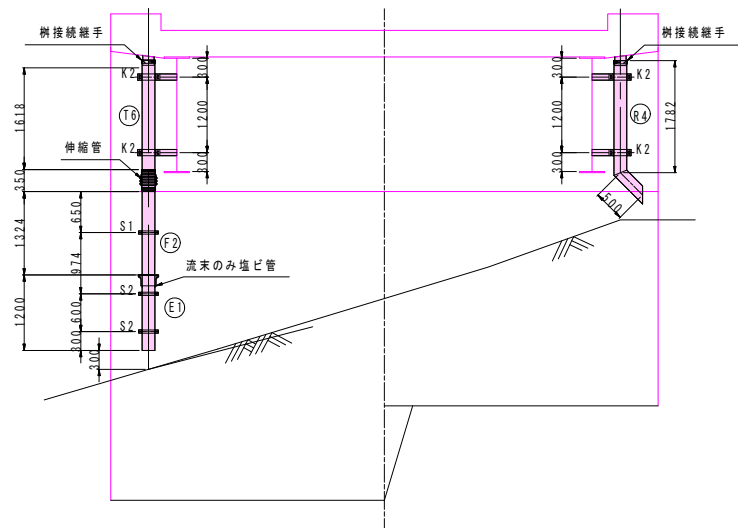
注) *地覆の既設鉄筋は、基本的に撤去しない。
*地覆の既設鉄筋には防錆処理を施す。
*鉄筋の断面減少、破断等が確認された場合には、鉄筋取換え、添え筋を施すものとする。

実施図

平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事

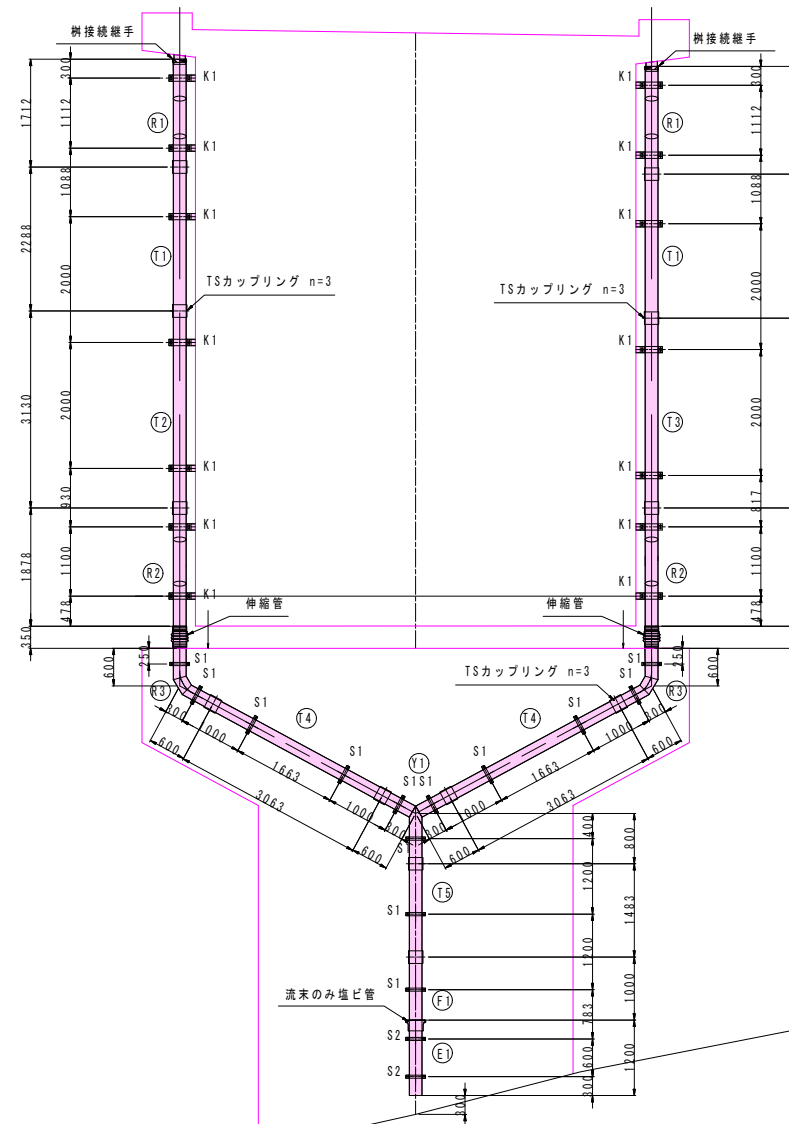
番号	4/13	地覆補修工	縮尺	図示
新和トンネル有料道路(R142号)				
小県郡 長和町和田 土屋大橋				
所長	内田	課長	照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社				
設計会社	長野県道路公社	管理技術者		
測量会社		照査技術者		
調査会社		主任技術者		

A1橋台



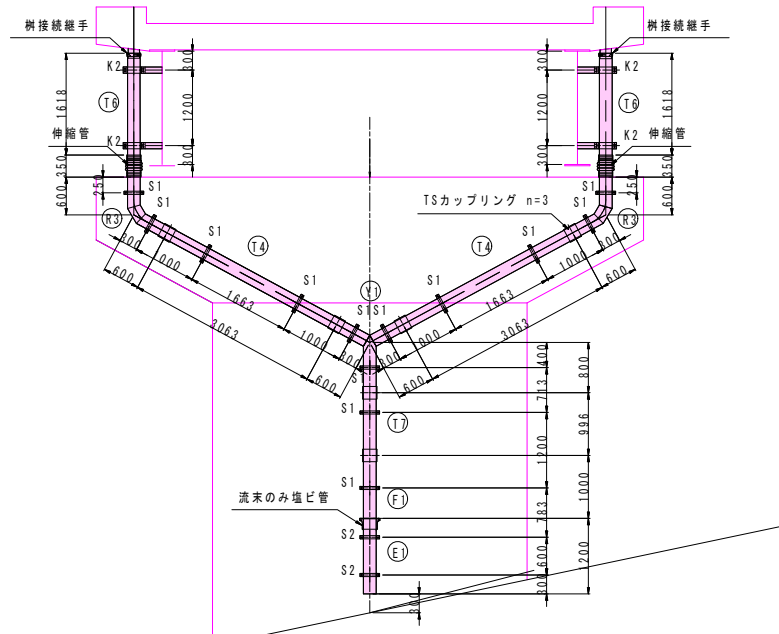
枠組足場 A = 1.8 × 2.7 = 4.86 掛m²

P2橋脚



枠組足場 A = 5.4 × 7.2 = 38.88 掛m²

P3橋脚



枠組足場 A = 5.4 × 7.2 = 38.88 掛m²

1. 現地工事に関しては再度寸法計測の上、排水管形状を検討し施工を行うこと。
2. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に関しては、現地状況を十分把握し併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
3. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
4. 排水管は、NETIS NO. CB-980013-V に準ずる。

排水管設置 $\Sigma L = 54.3$ m
 $L = 30.308$ m
 枠組足場 $\Sigma A = 4.8 + 38.8 + 38.8 = 82.4$ 掛m²

記号規格	材質	流水延長 (1本あたり)	単位	P2橋脚	P3橋脚	A1橋台	合計	流水延長 (合計) m	備考
直管	T1	SUS304	2.288	本	2		2	4.576	
	T2	"	3.130	"	1		1	3.130	
	T3	"	3.017	"	1		1	3.017	
	T4	"	3.063	"	2	2	4	12.252	
	T5	"	1.483	"	1		1	1.483	
	T6	"	1.618	"		2	1	3	4.854
	T7	"	0.996	"		1	1	1	0.996
曲管	F1	"	1.000	"	1	1	2	2.000	フランジ付
	F2	"	1.324	"		1	1	1.324	フランジ付
	R1	"	2.065	"	2		2	4.130	
	R2	"	2.567	"	2		2	5.134	
	R3	"	1.200	"	2	2	4	4.800	
塩ビパイプ	E1	PVC	1.200	"	1	1	1	3	フランジ付
	E2	"	0.150	"	2	2	1	5	0.750
樹接続継手	K1	SS400		"	2	2	6		亜鉛メッキ
	K2	"		"	2	2	6		亜鉛メッキ
TSカップリング	S1	SUS304		"	12	6	18		
	S2	"		"	2	2	6		
流水延長				m	32.496	15.258	6.574	54.328	

実施図

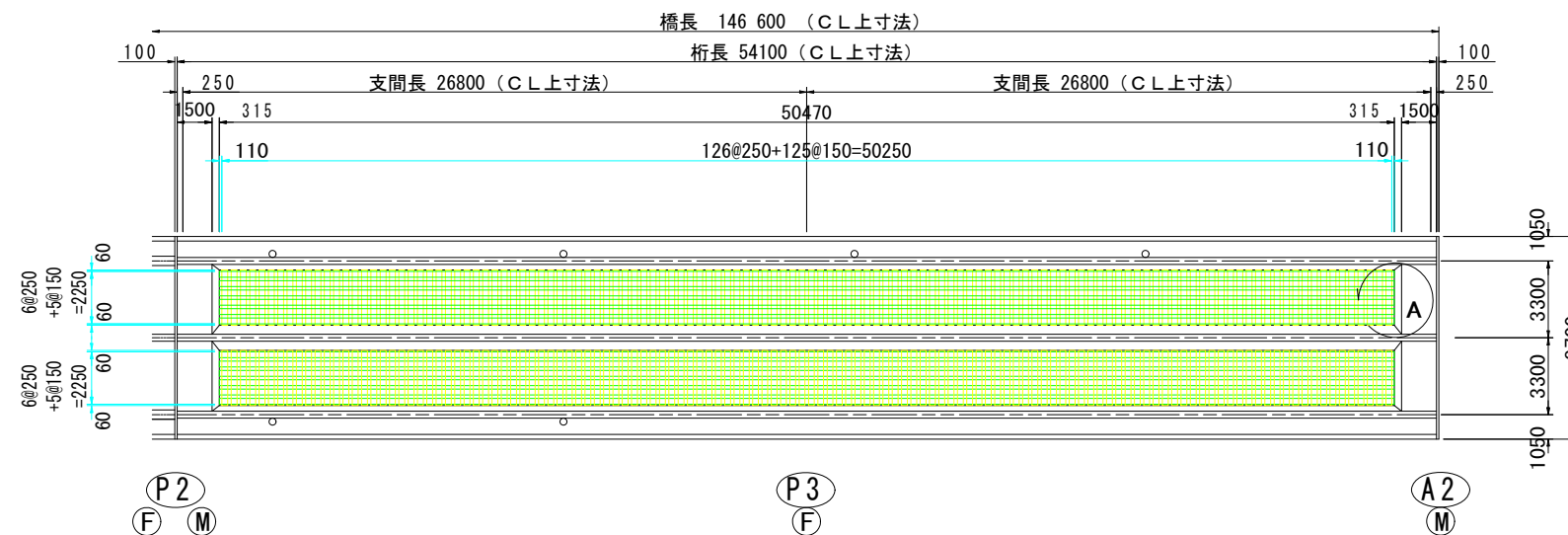
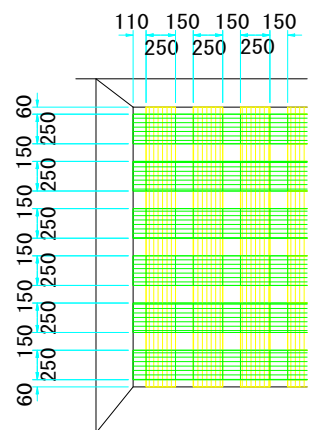
平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番号	5/13	排水管補修図	縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)			
小栗郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	

床版補強図

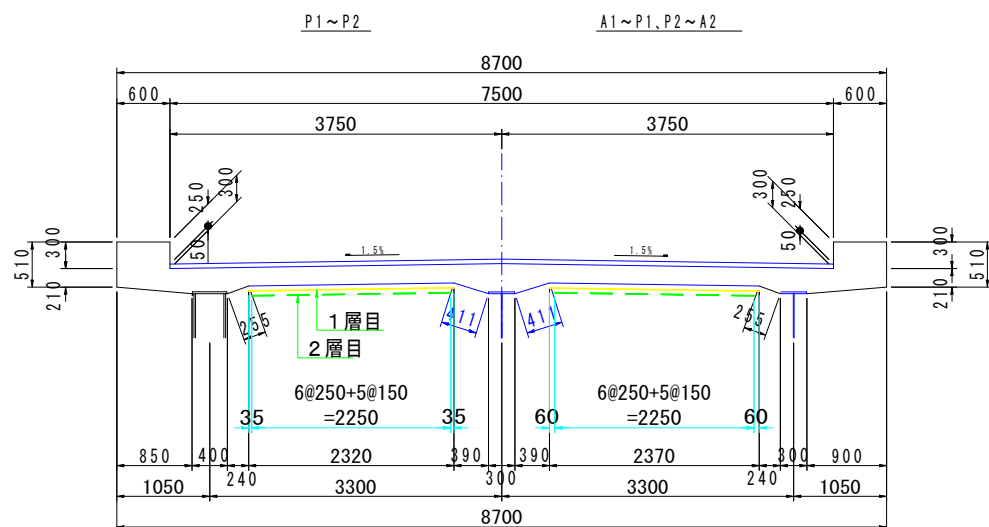
(H16施工図)

平面図 S=1:150

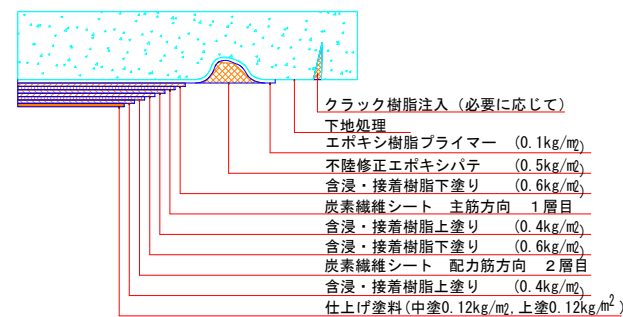
A部詳細図 S=1:30



断面図 S=1:40

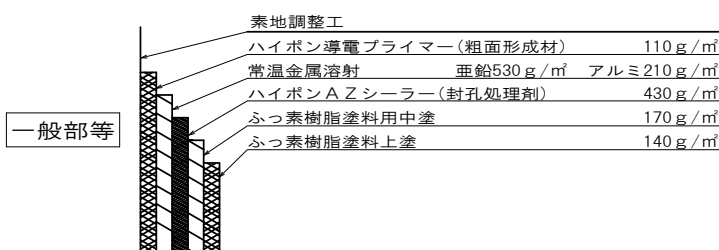


炭素繊維シート接着工断面詳細図

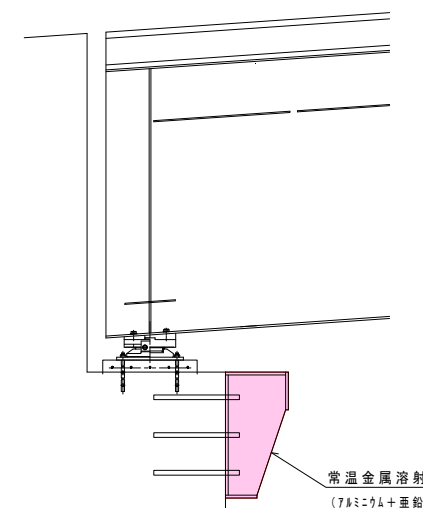


注) 炭素繊維シートは中弾性型炭素繊維シート(ヤング係数 4.4×10⁵ N/mm²、繊維目付量 400 g/m²)を用いる。

積層図



ブラケット常温金属溶射図 S=1:30

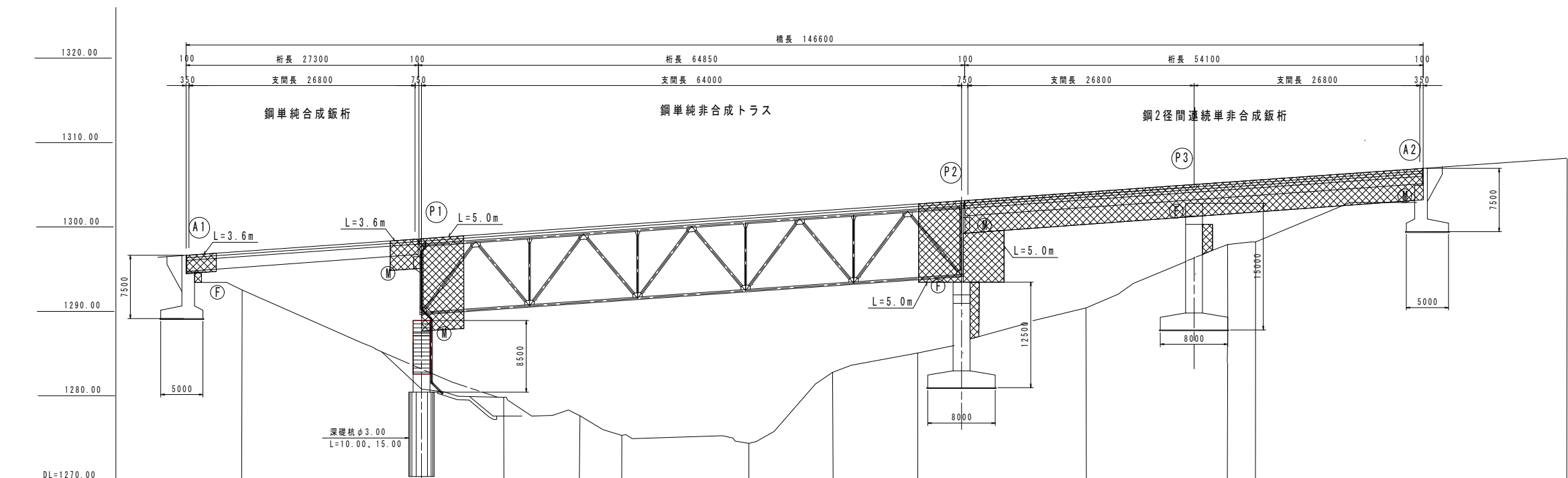


実施図

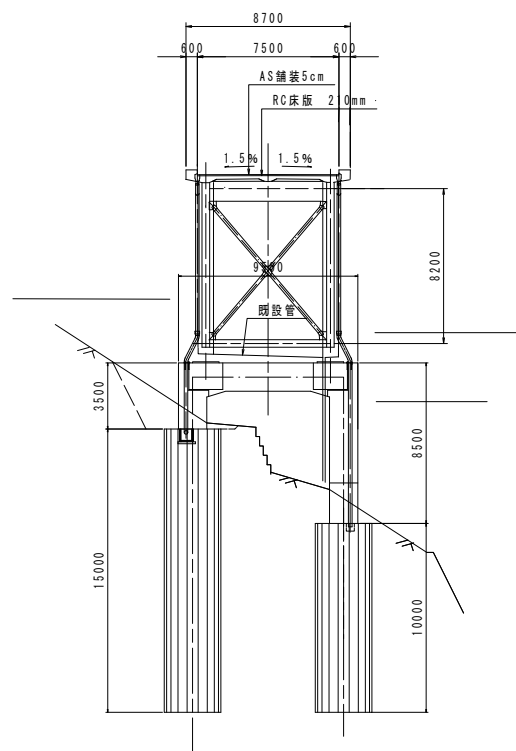
平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番号	6/13	床版補強図	縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)			
小泉郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

土屋大橋 仮設図

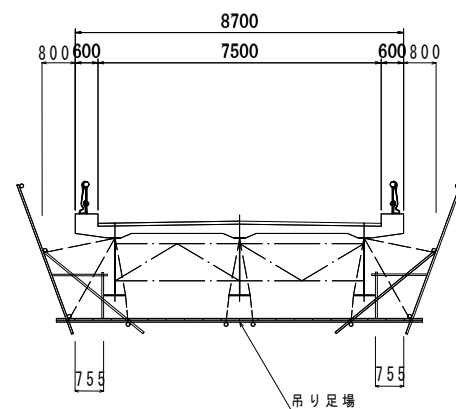
側面図 S=1:300



上部工標準断面図 S=1:200



断面図 S=1:100



上部工補修工

- プレートガーダー
 吊り足場(主体) $A=10.3 \times (3.6+3.6+53.6) = 626.2\text{m}^2$
 吊り足場(中段) $A=10.3 \times 5.0 = 51.5\text{m}^2$
- トラス
 吊り足場(主体) $A=10.3 \times (5.0+5.0) = 103.0\text{m}^2$
 吊り足場(中段) $A=10.3 \times (5.0+5.0) = 103.0\text{m}^2$
- 地覆足場 $A=54.1 \times 2 \times (0.80+0.75) = 167.7\text{m}^2$

実施図

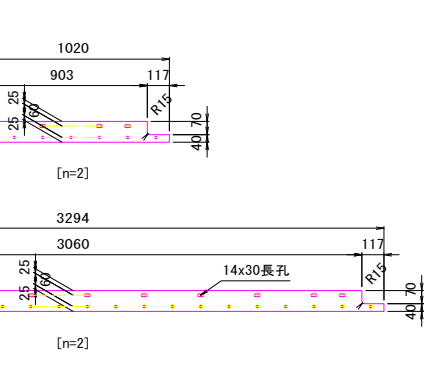
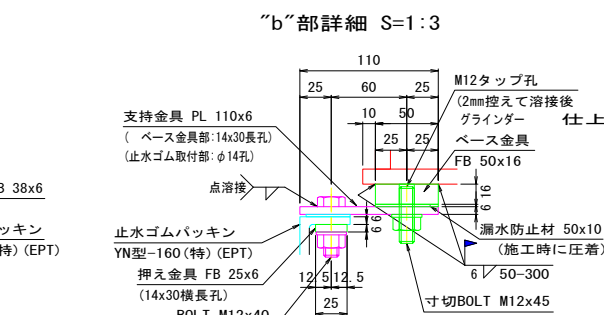
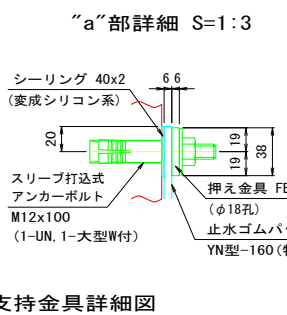
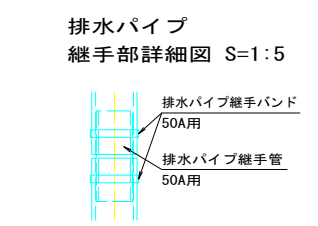
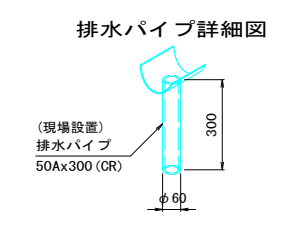
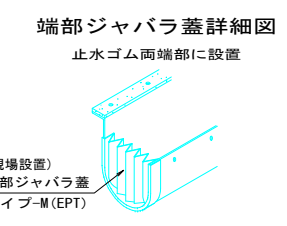
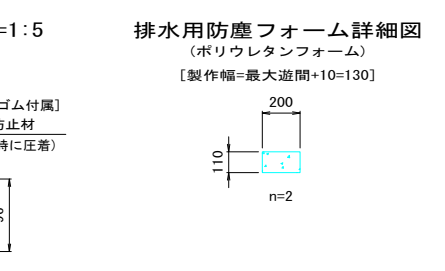
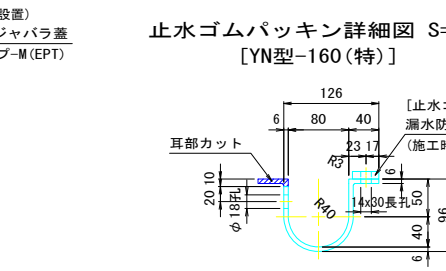
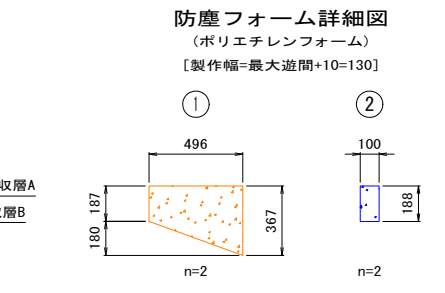
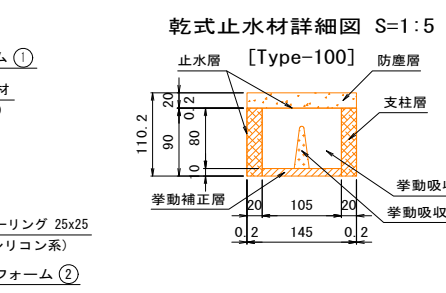
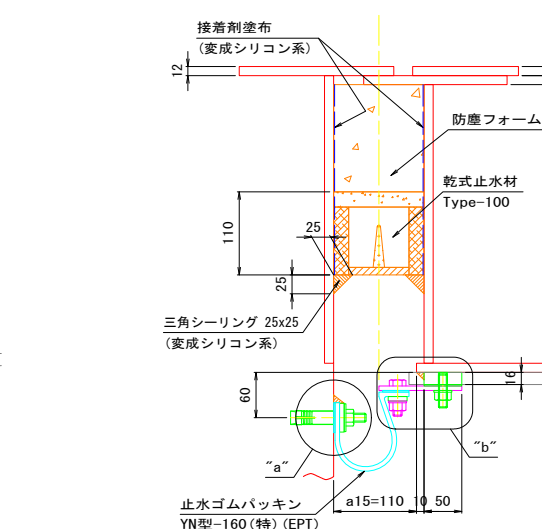
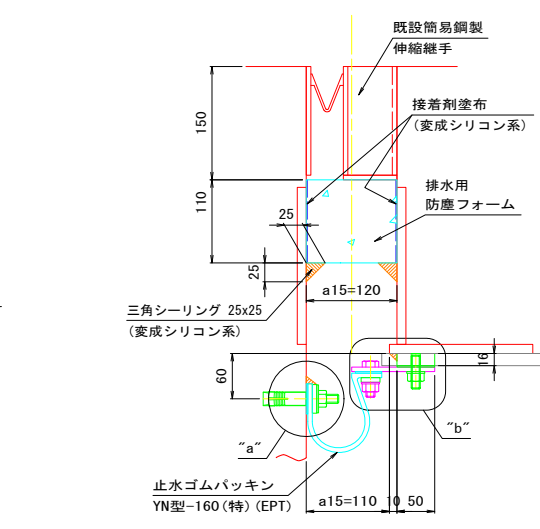
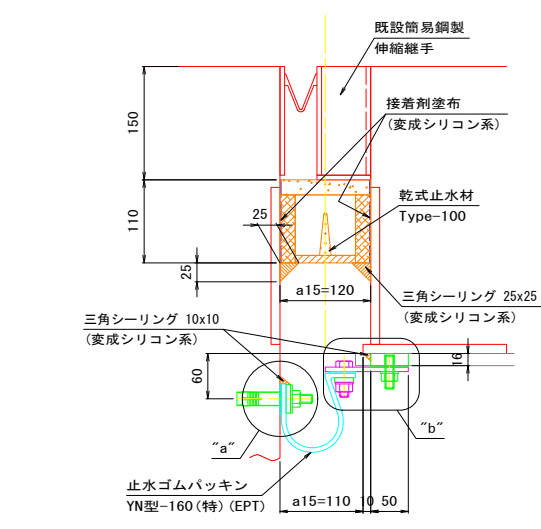
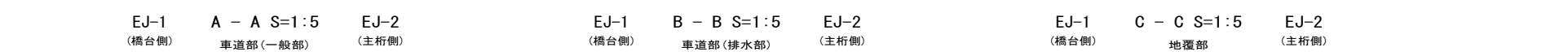
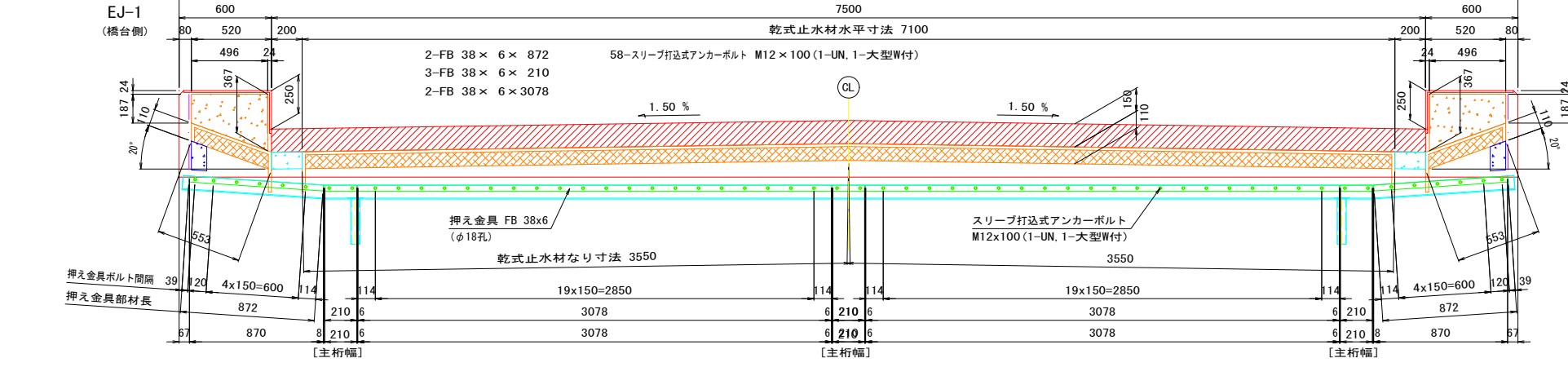
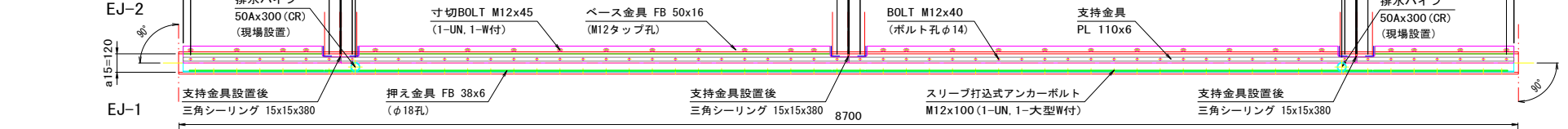
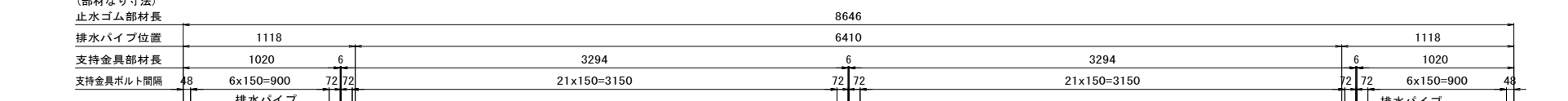
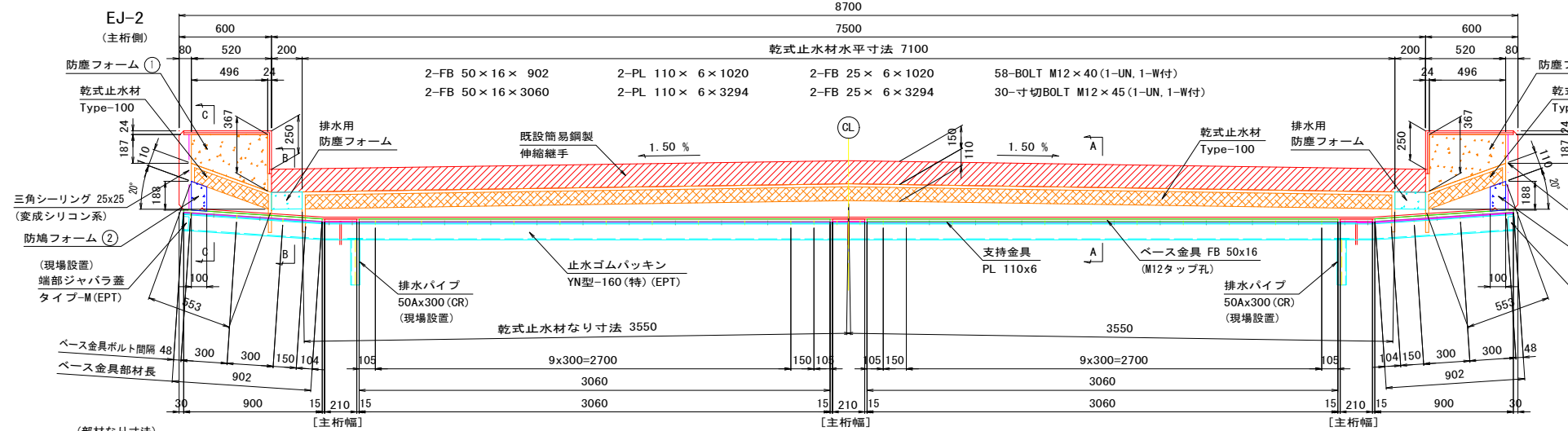
平成25年度 新和田トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番号	7/13	仮設図	縮尺 図示
新和田トンネル有料道路(R142号)			
小県郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県 道路公社	管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

伸縮装置止水構造図(その1) S = 1:20

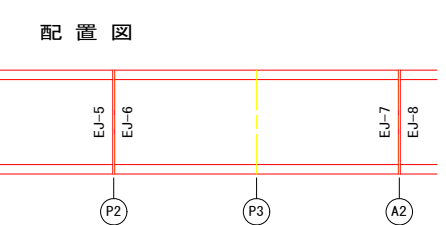
[土屋大橋 A1]

標準ウエブ遊間	+15°C時	120mm
最大ウエブ遊間	-20°C時	120mm
最小ウエブ遊間	+40°C時	120mm

- 2-乾式止水材 Type-100 × 553
- 1-乾式止水材 Type-100 × 7100
- [排水用] 2-防塵フォーム 130 × 110 × 200
- ① 2-防塵フォーム 130 × 367 × 496
- ② 2-防塵フォーム 130 × 188 × 100
- 2-漏水防止材 50 × 10 × 902
- 2-漏水防止材 50 × 10 × 3060
- 1-止水ゴムパッキン YN型-160(特) × 8646 (EPT)
- 2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M(EPT)
- 2-排水パイプ 50A × 300 (CR) [止水ゴム付]
- 2-排水パイプ 50A × 3000 (CR) [導水用]
- 2-排水パイプ継手管 50A用[導水用]
- 4-排水パイプ継手バンド 50A用[導水用]
- 6-排水パイプ固定金具 50A用[導水用]



- 注記
- 特記なき鋼材の材質は全てSUS304とする。
 - 既設部材と乾式止水材及び防塵フォームとの接着面は既設部材の下地処理を確実にを行った上で所定量のプライマー及び接着剤を塗布し、乾式止水材及び防塵フォームを設置すること。
 - 止水ゴムパッキンの排水パイプは既設排水管に導水すること。
 - 溶接部材は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行なって溶接し、溶接後は防錆処理を行なうこと。
 - 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。



実施図

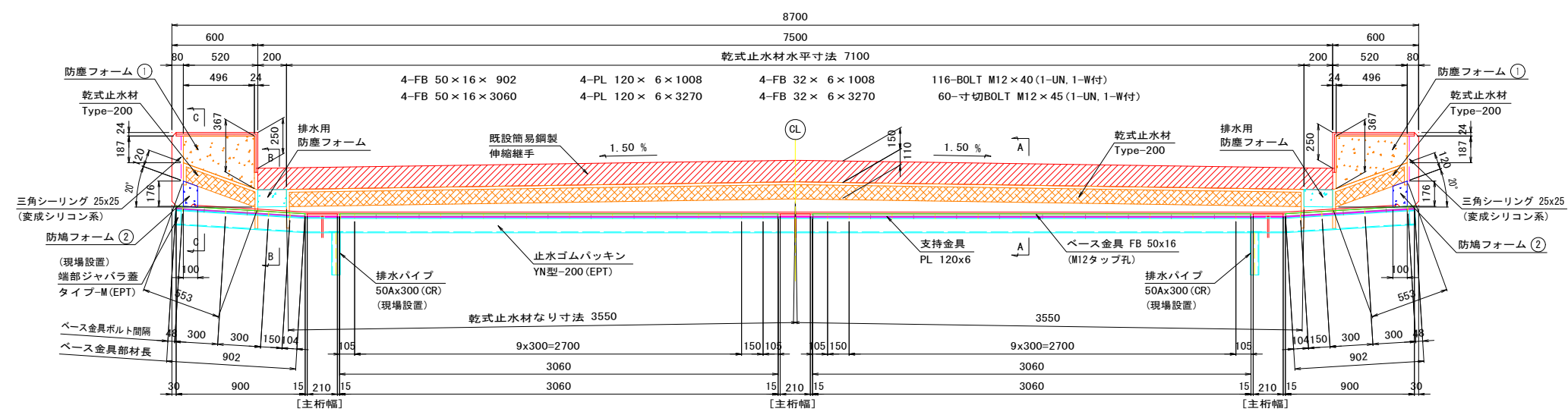
平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕工事			
番号	8/13	非排水構造図(1)	縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)			
小県郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査 田口 設計 佐藤	
長野県 道路公社			
設計会社	長野県 道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

伸縮装置止水構造図(その2) S = 1:20

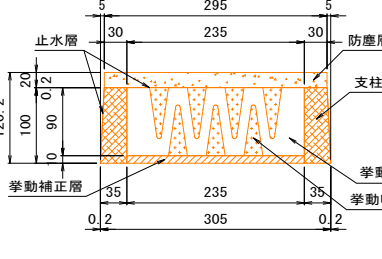
[土屋大橋 P1]

- 2-乾式止水材 Type-200 × 553
- 1-乾式止水材 Type-200 × 7100
- [排水用] 2-防塵フォーム 268 × 120 × 200
- ① 2-防塵フォーム 268 × 367 × 496
- ② 2-防塵フォーム 268 × 176 × 100
- 4-漏水防止材 50 × 10 × 902
- 4-漏水防止材 50 × 10 × 3060
- 1-止水ゴムパッキン YN型-200 × 8646 (EPT)
- 2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M (EPT)
- 2-排水パイプ 50A × 300 (CR) [止水ゴム付]
- 2-排水パイプ 50A × 3000 (CR) [導水用]
- 2-排水パイプ継手管 50A用 [導水用]
- 4-排水パイプ継手バンド 50A用 [導水用]
- 6-排水パイプ固定金具 50A用 [導水用]

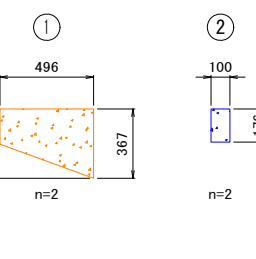
標準ウエブ遊間	+15°C時	220mm
最大ウエブ遊間	-20°C時	258mm
最小ウエブ遊間	+40°C時	193mm



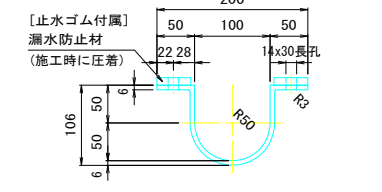
乾式止水材詳細図 S=1:5
[Type-200]



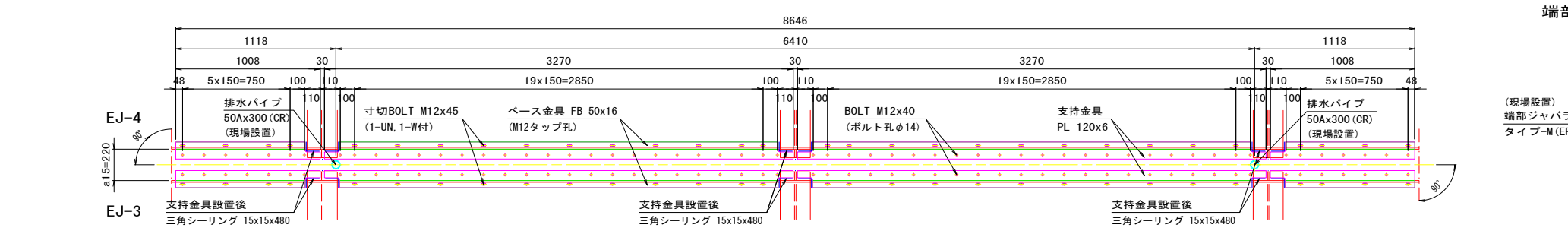
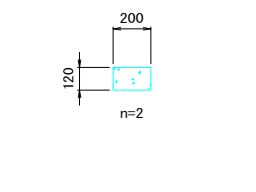
防塵フォーム詳細図
(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=268]



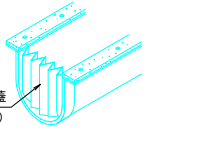
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:5
[YN型-200]



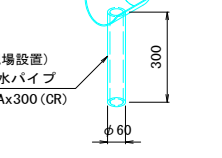
排水用防塵フォーム詳細図
(ポリウレタンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=268]



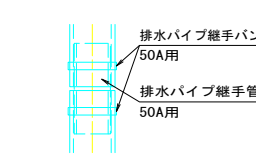
端部ジャバラ蓋詳細図
止水ゴム両端部に設置



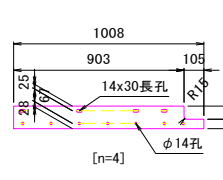
排水パイプ詳細図



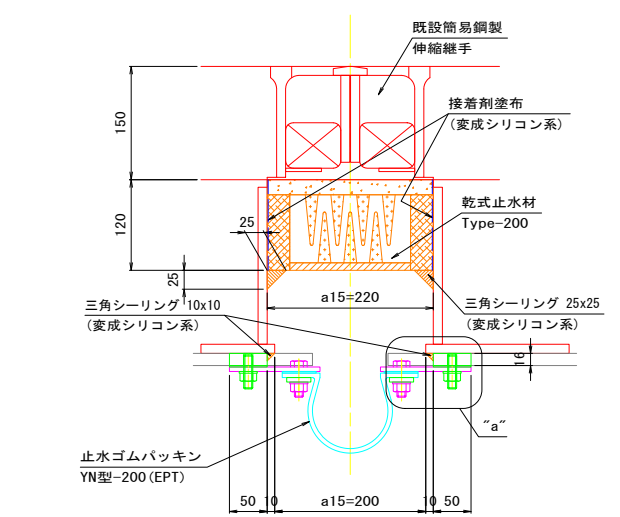
排水パイプ継手部詳細図 S=1:5



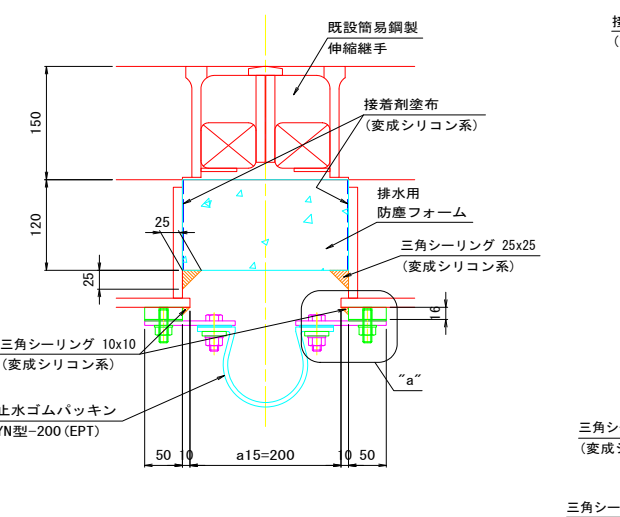
支持金具詳細図



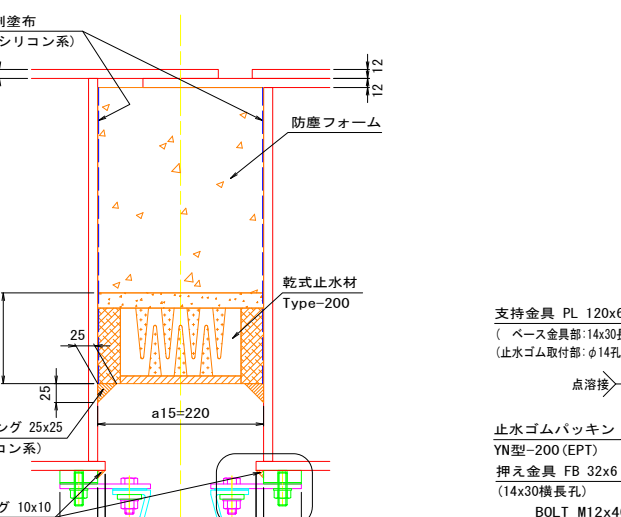
EJ-3 A-A S=1:5 EJ-4
(起点側) 車道部(一般部) (終点側)



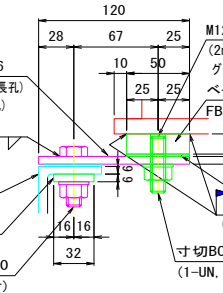
EJ-3 B-B S=1:5 EJ-4
(起点側) 車道部(排水部) (終点側)



EJ-3 C-C S=1:5 EJ-4
(起点側) 地覆部 (終点側)

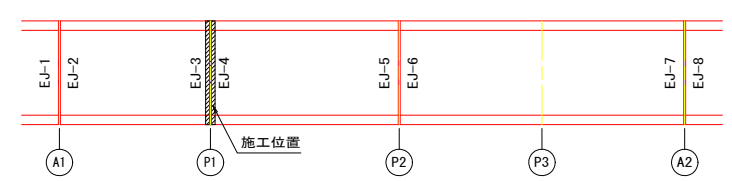


"a"部詳細 S=1:3



- 注記)
1. 特記なき鋼材の材質は全てSUS304とする。
 2. 既設部材と乾式止水材及び防塵フォームとの接着面は既設部材の下地処理を確実にこなった上で所定量のプライマー及び接着剤を塗布し、乾式止水材及び防塵フォームを設置すること。
 3. 止水ゴムパッキンの排水パイプは既設排水管に導水すること。
 4. 溶接部材は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行なって溶接し、溶接後は防錆処理を行なうこと。
 5. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

配置図



実施図

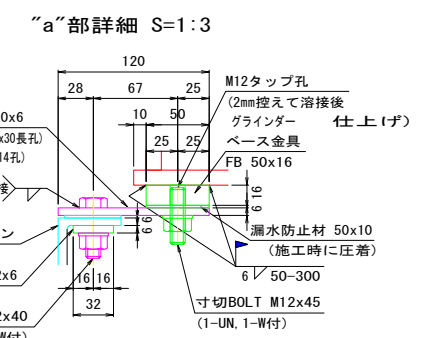
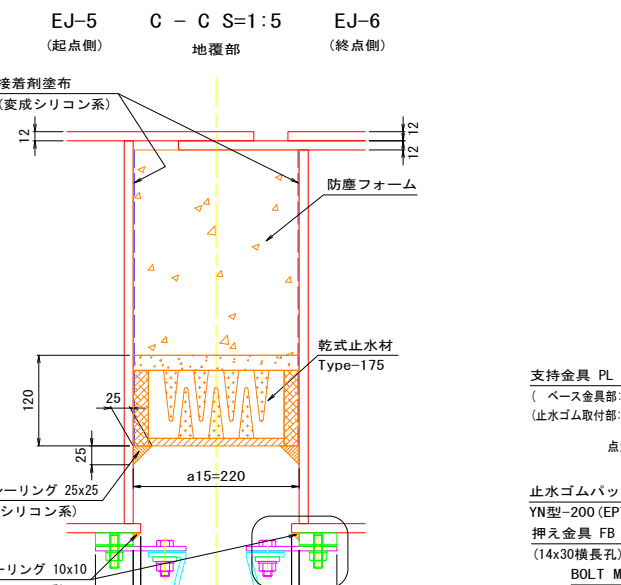
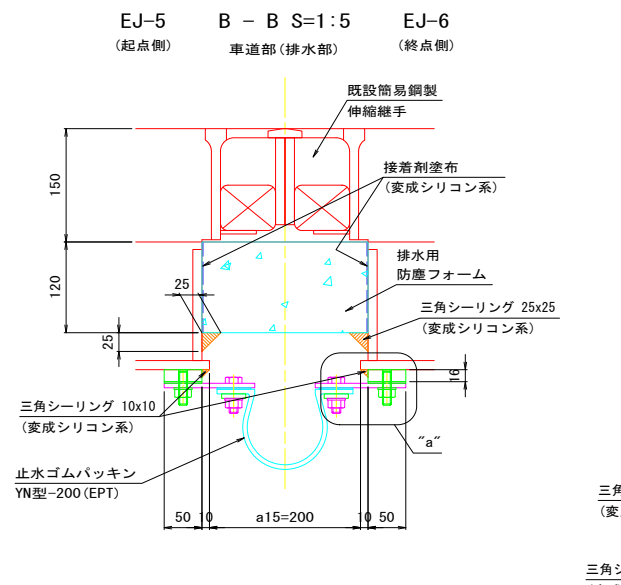
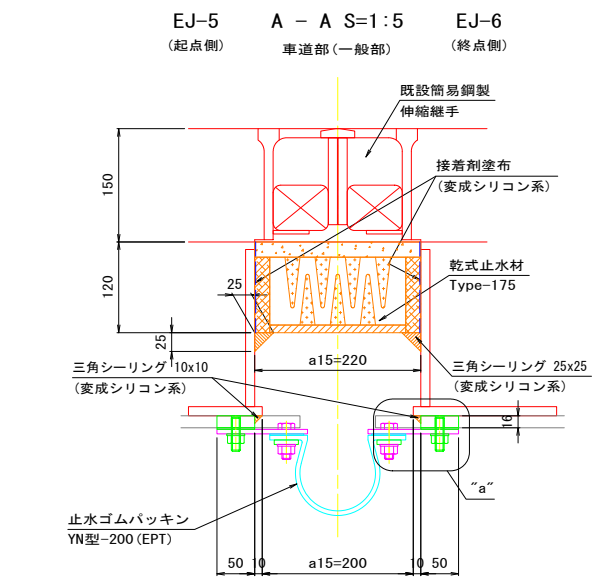
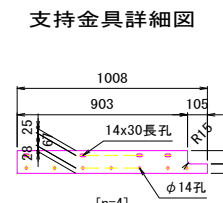
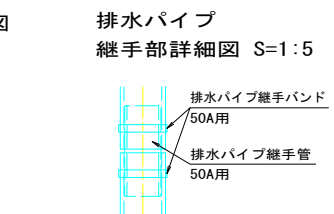
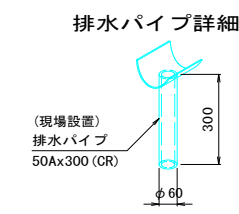
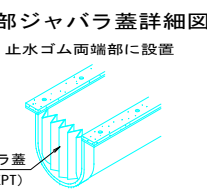
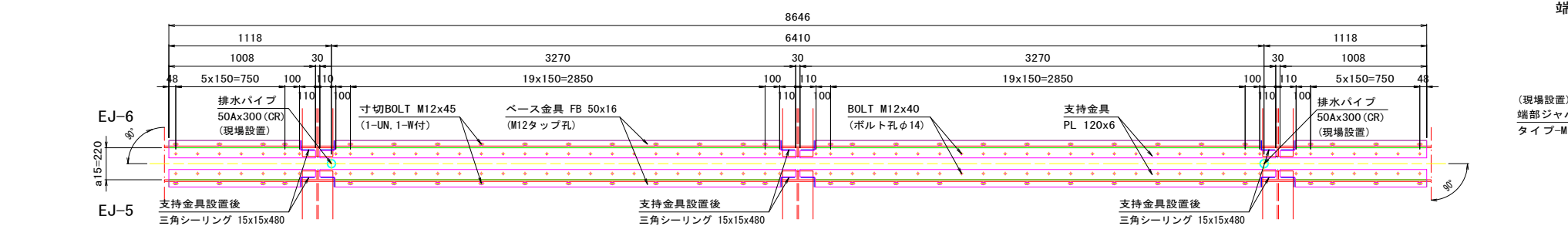
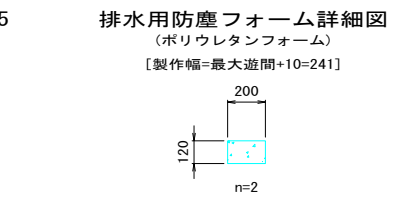
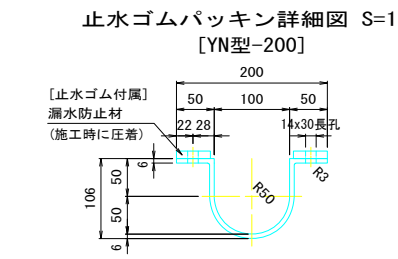
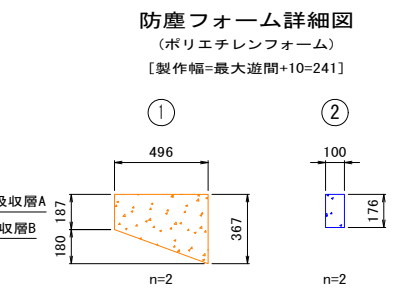
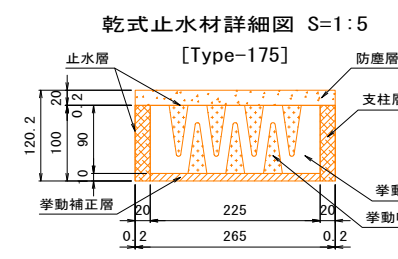
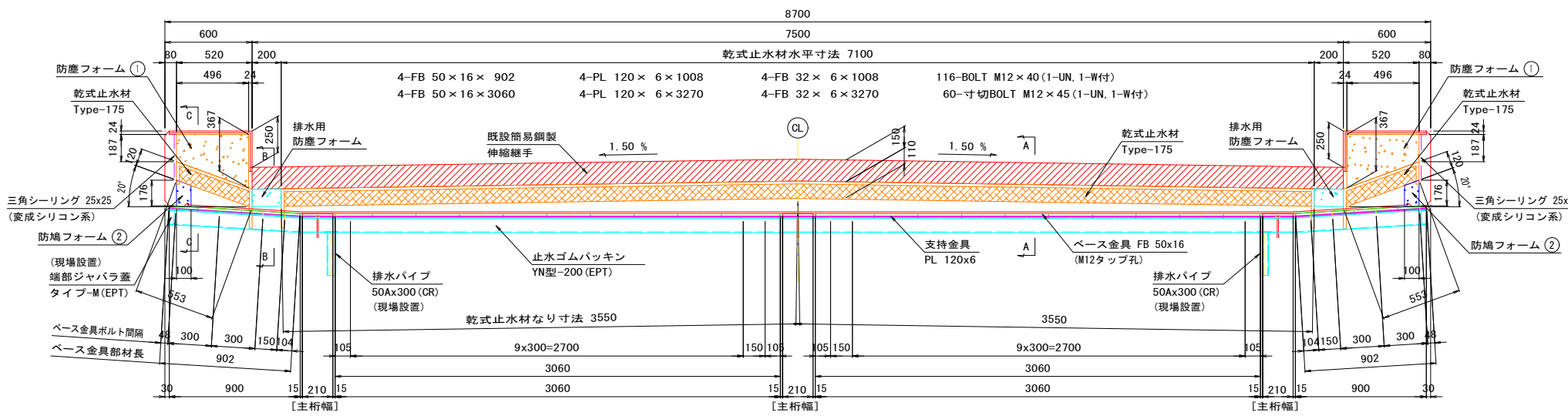
平成25年度	新和トンネル有料道路	橋梁修繕工事
番号 9/13	非排水構造図(2)	縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)		
小泉郡 長和町和田 土屋大橋		
所長 内田 課長	照査 田口	設計 佐藤
長野県道路公社		
設計会社 長野県道路公社	管理技術者	
	照査技術者	
測量会社	主任技術者	
調査会社	主任技術者	

伸縮装置止水構造図(その3) S = 1:20

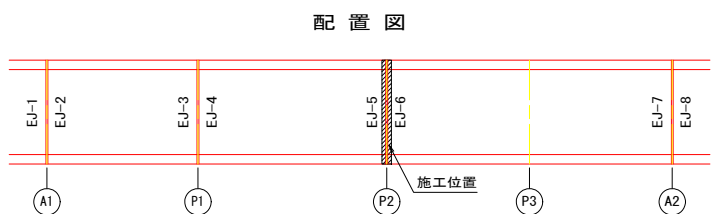
[土屋大橋 P2]

- 2-乾式止水材 Type-175 × 553
- 1-乾式止水材 Type-175 × 7100
- [排水用] 2-防塵フォーム 241 × 120 × 200
- ① 2-防塵フォーム 241 × 367 × 496
- ② 2-防塵フォーム 241 × 176 × 100
- 4-漏水防止材 50 × 10 × 902
- 4-漏水防止材 50 × 10 × 3060
- 1-止水ゴムパッキン YN型-200 × 8646 (EPT)
- 2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M (EPT)
- 2-排水パイプ 50A × 300 (CR) [止水ゴム付]
- 2-排水パイプ 50A × 3000 (CR) [導水用]
- 2-排水パイプ継手管 50A用 [導水用]
- 4-排水パイプ継手バンド 50A用 [導水用]
- 6-排水パイプ固定金具 50A用 [導水用]

標準ウエブ遊間	+15°C時	220mm
最大ウエブ遊間	-20°C時	231mm
最小ウエブ遊間	+40°C時	212mm



- 注記
- 特記なき鋼材の材質は全てSUS304とする。
 - 既設部材と乾式止水材及び防塵フォームとの接着面は既設部材の下部処理を確実にした上で所定量のプライマー及び接着剤を塗布し、乾式止水材及び防塵フォームを設置すること。
 - 止水ゴムパッキンの排水パイプは既設排水管に導水すること。
 - 溶接部材は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行なって溶接し、溶接後は防錆処理を行なうこと。
 - 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。



実施図

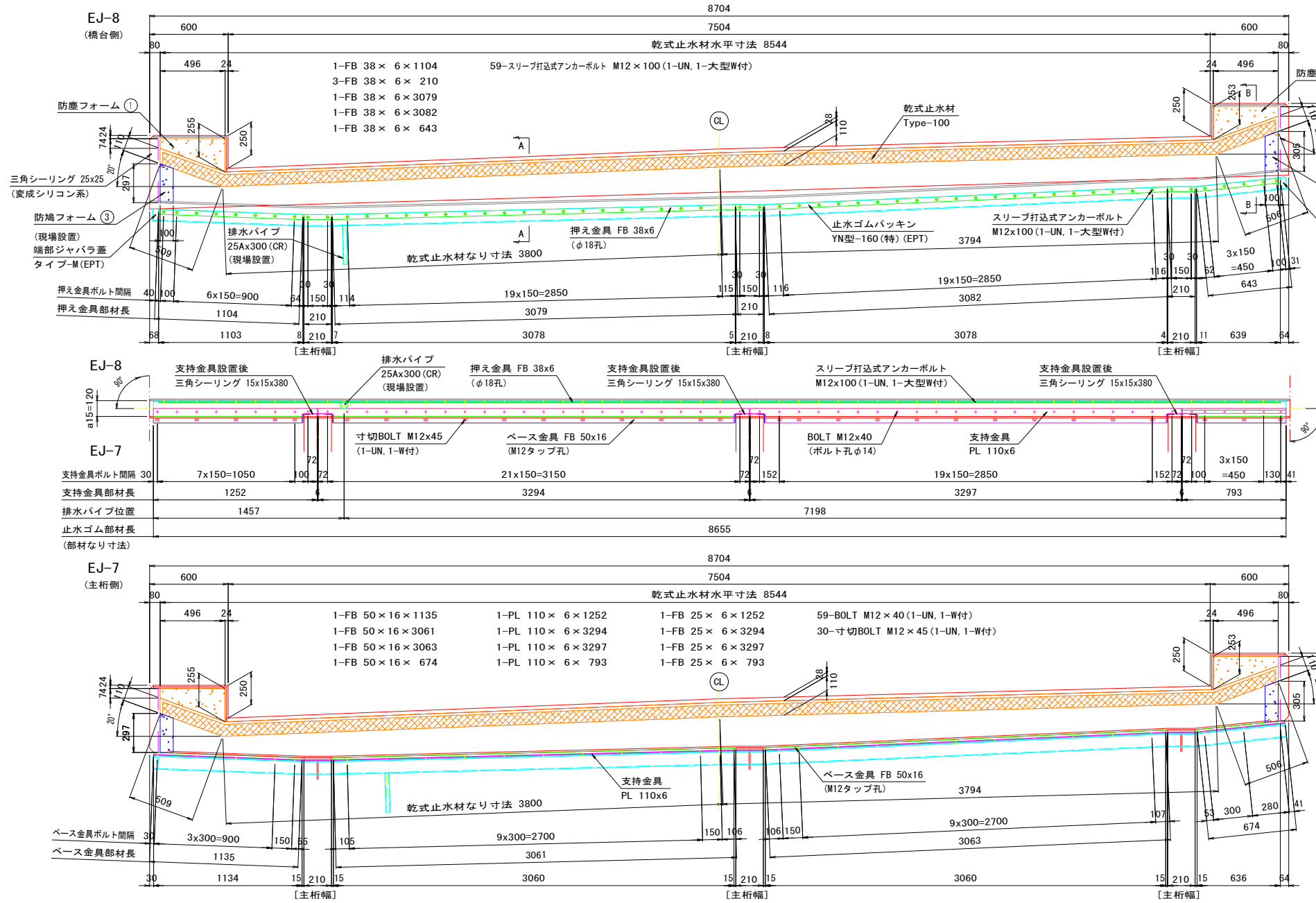
平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕工事			
番号	10/13	非排水構造図(3) 縮尺	図示
新和トンネル有料道路(R142号)			
小栗郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査 田口 設計 佐藤	
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	

標準ウエブ遊間	+15°C時	120mm
最大ウエブ遊間	-20°C時	131mm
最小ウエブ遊間	+40°C時	112mm

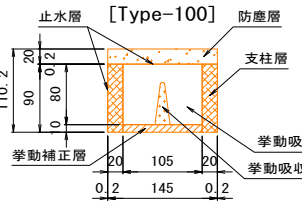
伸縮装置止水構造図(その4) S = 1:20

[土屋大橋 A2]

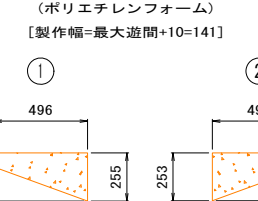
- 1-乾式止水材 Type-100×8609
- 1-漏水防止材 50×10×1135
- 1-止水ゴムパッキン YN型-160(特)×8655(EPT)
- ① 1-防塵フォーム 141×255×496
- 1-漏水防止材 50×10×3061
- 2-端部ジャバラ蓋 タイプ-M(EPT)
- ② 1-防塵フォーム 141×253×496
- 1-漏水防止材 50×10×3063
- 1-排水パイプ 25A×3000(CR) [導水用]
- ③ 1-防塵フォーム 141×297×100
- 1-漏水防止材 50×10×674
- 1-排水パイプ継手管 25A用 [導水用]
- ④ 1-防塵フォーム 141×305×100
- 2-排水パイプ継手バンド 25A用 [導水用]
- 3-排水パイプ固定金具 25A用 [導水用]



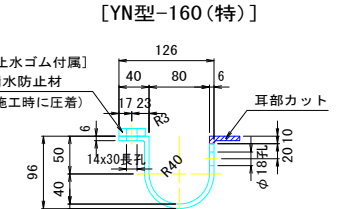
乾式止水材詳細図 S=1:5



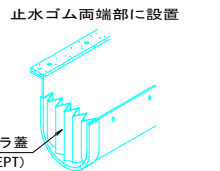
防塵フォーム詳細図



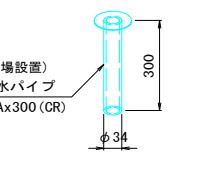
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:5



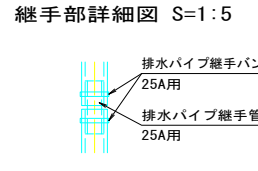
端部ジャバラ蓋詳細図



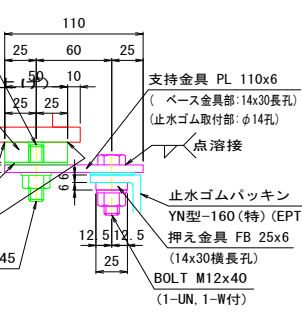
排水パイプ詳細図



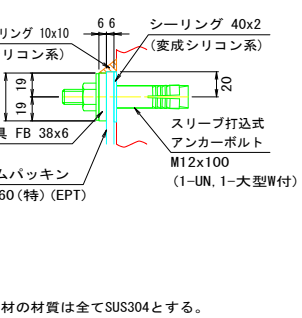
排水パイプ継手部詳細図 S=1:5



"a"部詳細 S=1:3

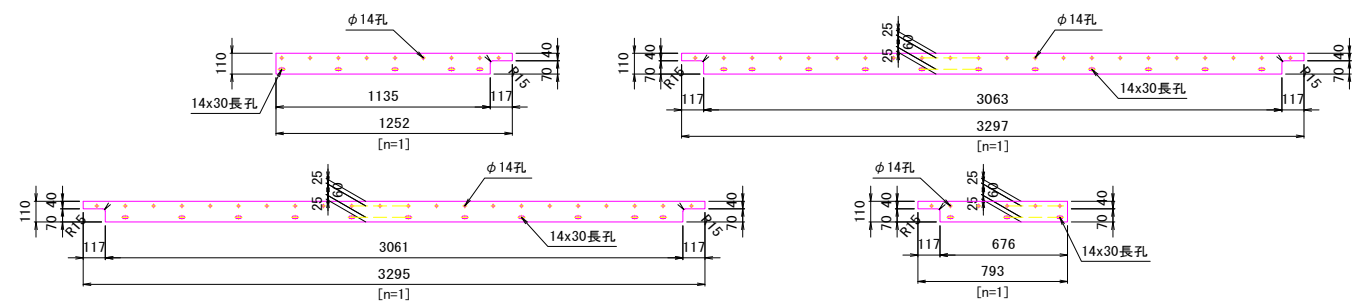


"b"部詳細 S=1:3

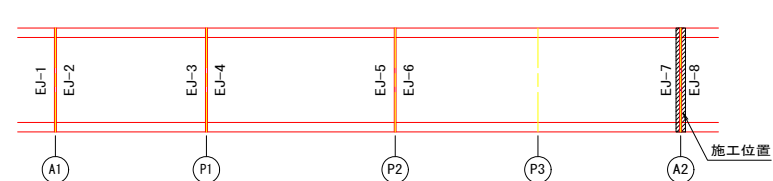


- 注記
- 特記なき鋼材の材質は全てSUS304とする。
 - 既設部材と乾式止水材及び防塵フォームとの接着面は既設部材の下部処理を確実に行った上で所定量のプライマー及び接着剤を塗布し、乾式止水材及び防塵フォームを設置すること。
 - 止水ゴムパッキンの排水パイプは既設排水管に導水すること。
 - 溶接部材は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剝離を行なって溶接し、溶接後は防錆処理を行なうこと。
 - 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

支持金具詳細図



配置図

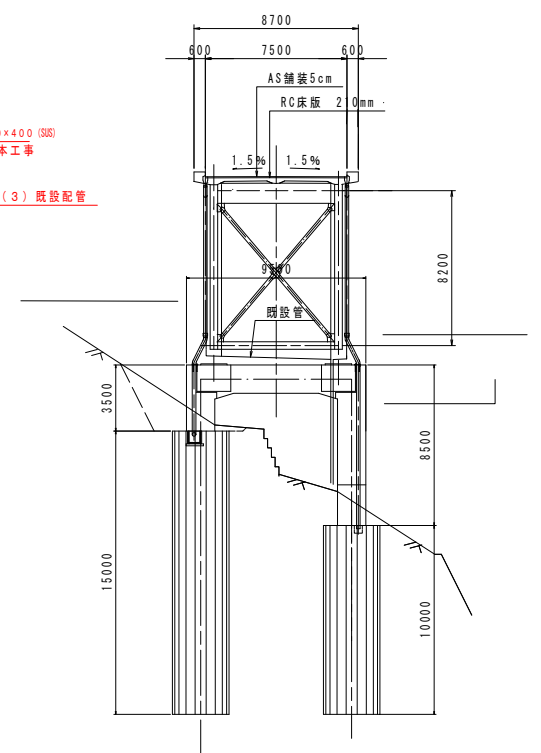
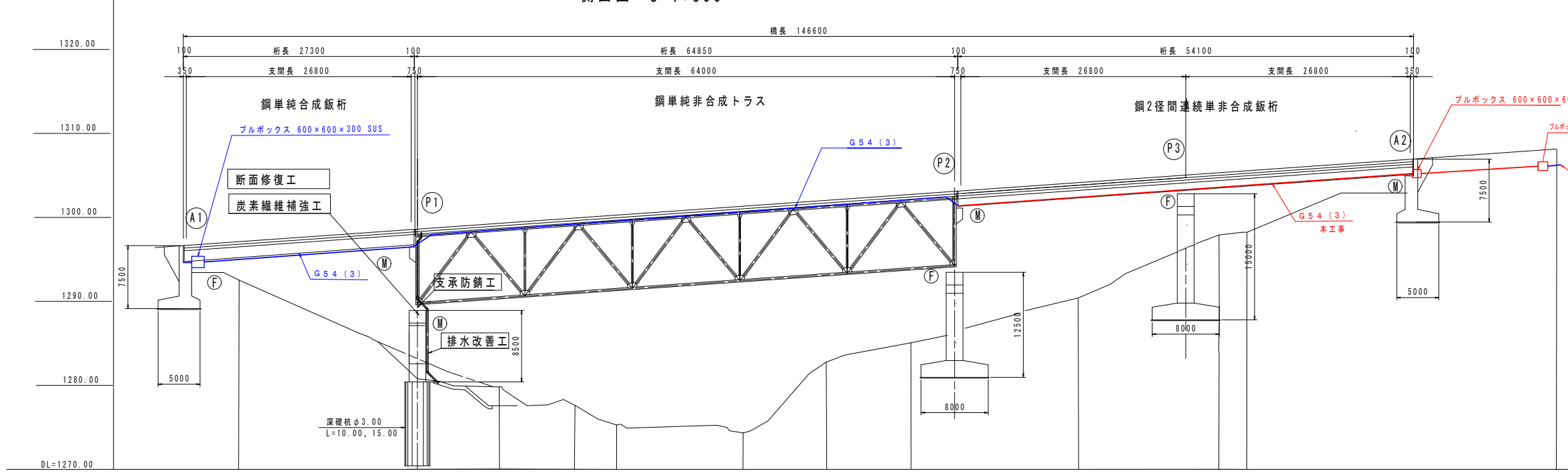


平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番号	1/13	非排水構造図(4)	縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)			
小泉郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	調査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	

電線管移設図 (1)

側面図 S=1:300

上部工標準断面図 S=1:200

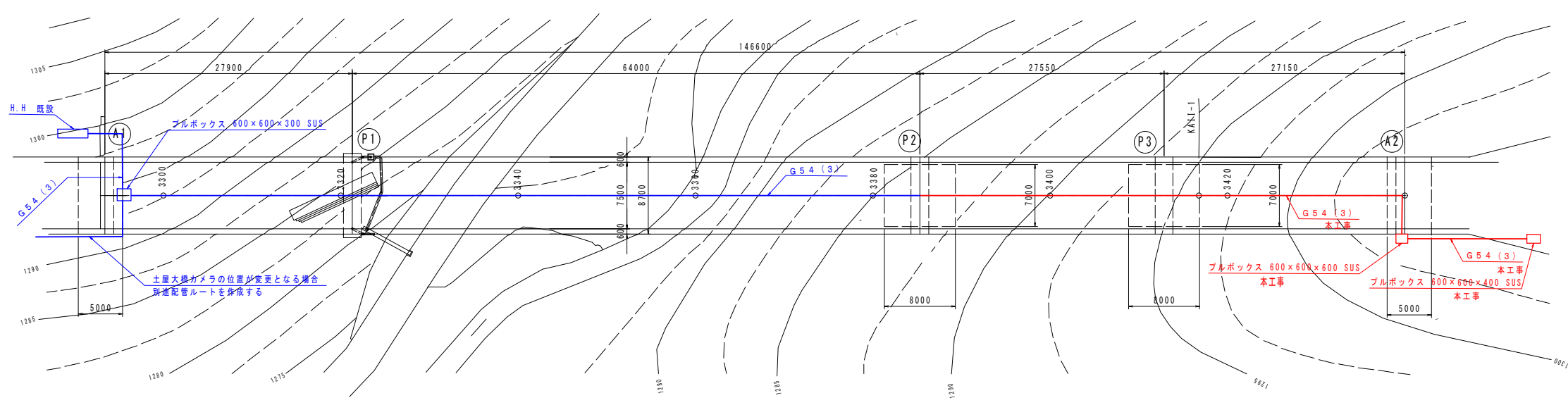


縦断勾配	i = 7.000%															
計画高	1286.588	1287.050	1288.450	1288.541	1289.220	1289.850	1290.200	1290.250	1290.950	1290.650	1303.021	1304.050	1304.950	1305.217	1305.457	1306.850
地盤高		1282.53	1283.66	1283.541	1279.84	1277.73	1275.38	1274.42	1283.83	1285.13	1290.39	1304.050	1304.950	1297.87	1288.15	1306.28
単距離	6.600	20.000	1.300	9.700	9.000	5.000	15.000	10.000	10.000	5.300	14.700	12.850	3.819	3.331	20.000	
測点	3283.400	3300.0	3320.0	3321.300	3331.0	3340.0	3345.0	3360.0	3370.0	3385.300	3400.0	3412.850	3416.669	3420.0	3440.0	
平面曲線	R=∞ L=132.5															
横断勾配	+1.5%															

数量表

配管工	G54	195.0	m
P. BOX 設置工	M12アンカーボルト (SUS)	75.0	本
	600x600x600 (SUS)	1.0	個
	600x600x400 (SUS)	1.0	式
雑材		1.0	m
配線工	CPEV(s)-0.9-30p	200.0	m
	光ケーブル G1-4C	200.0	m
	600v-CV8sq-3C	200.0	m
配管撤去工	G54	195.0	m
	FEP65	250.0	m
	FEP50	400.0	個
P. BOX 撤去工		1.0	個
端子盤 撤去工		1.0	面
配線 撤去工	再使用 CPEV(s)-0.9-30p	250.0	m
	再使用 光ケーブル G1-4C	250.0	m
	再使用 600v-CV8sq-3C	250.0	m
	OF-G14C+CCPA0.9-30P	50.0	m
	OF-G14C+CCPA0.9-30P	50.0	m
ケーブル接続工	CPEV(s)-0.9-30p	2.0	箇所
	光ケーブル G1-4C	2.0	箇所
	600v-CV8sq-3C	2.0	箇所
試験調整工	光ケーブル G1-4C	2.0	方向
		6.0	人工

平面図 S=1:300

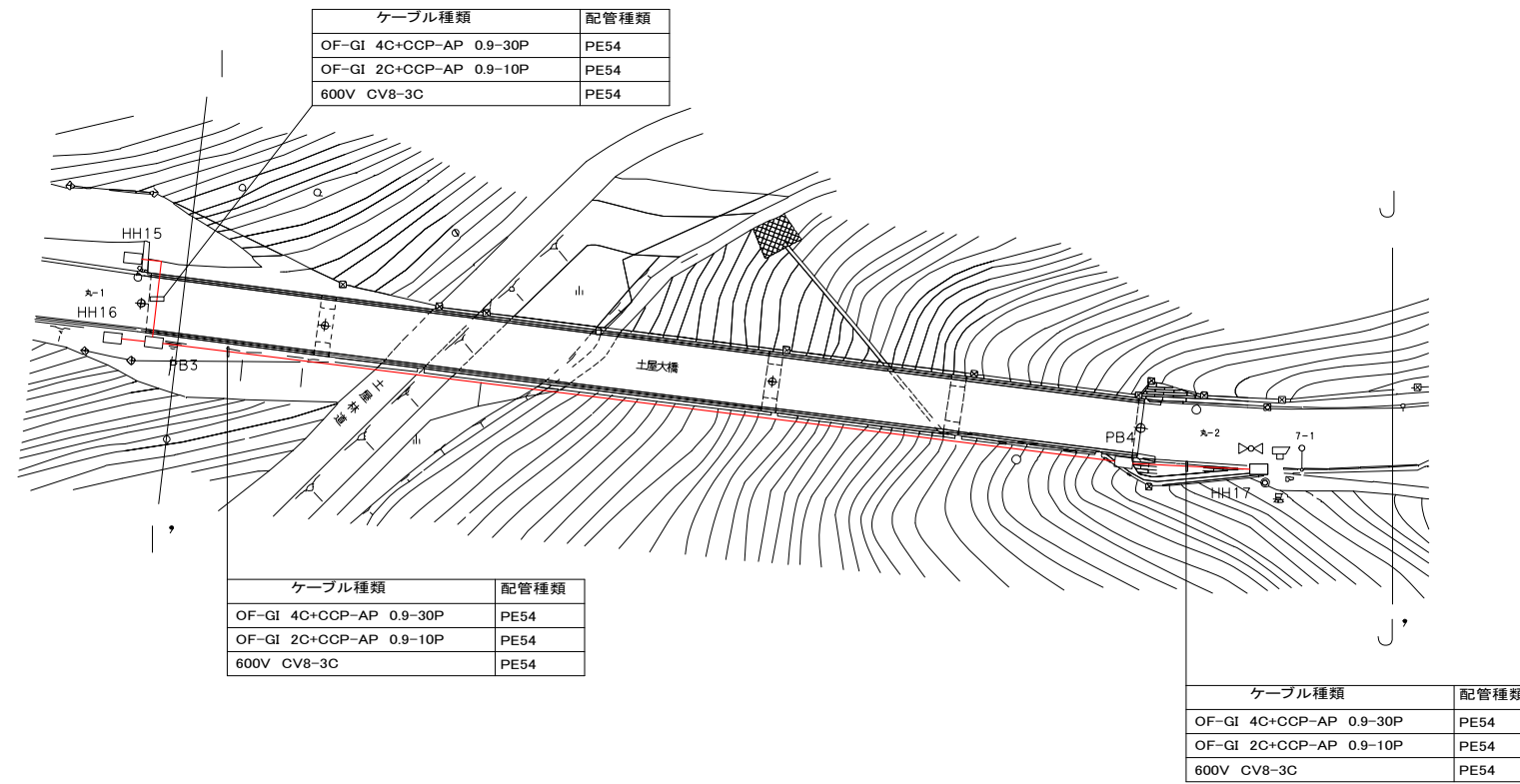


実施図

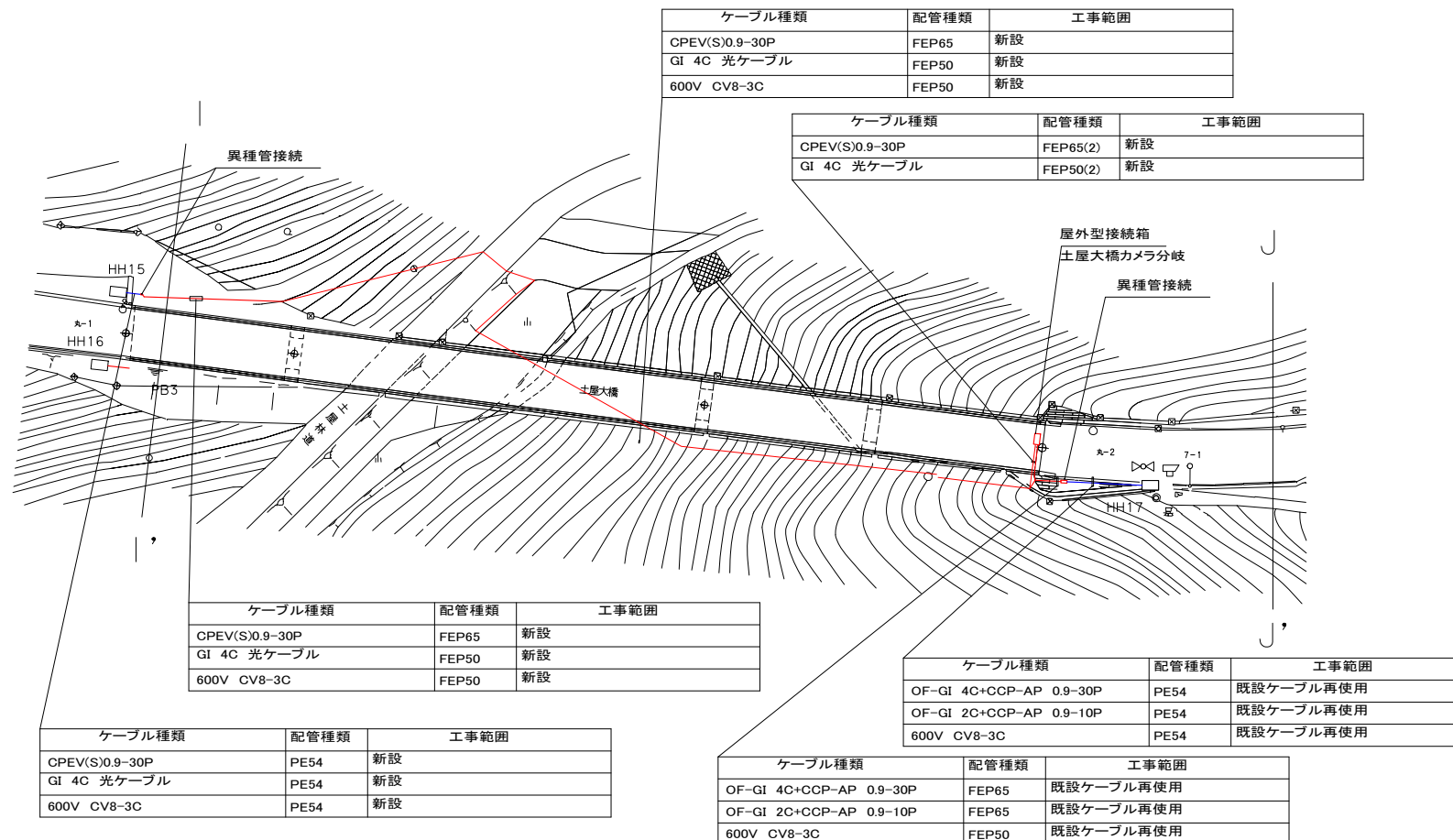
平成25年度	新和田トンネル有料道路 橋梁修繕工事
番号 12/13	電線管移設図(1) 縮尺 図示
新和田トンネル有料道路(R142号)	
小栗郡 長和町和田 土屋大橋	
所長	内田 課長
照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社	
設計会社	長野県 管理技術者
	道路公社 照査技術者
測量会社	主任技術者
調査会社	主任技術者

土屋大橋 電線管移設図 (2)

土屋大橋通信ケーブル設置平面図(既設)



土屋大橋通信ケーブル撤去・移設平面図(仮設)



実施図

平成25年度 新和トンネル有料道路 橋梁修繕 工事			
番号	13/13	電線管移設図(2)	縮尺 図示
新和トンネル有料道路(R142号)			
小泉郡 長和町和田 土屋大橋			
所長	内田 課長	照査	田口 設計 佐藤
長野県道路公社			
設計会社	長野県道路公社	管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	